

# 民生福祉常任委員会審査日程

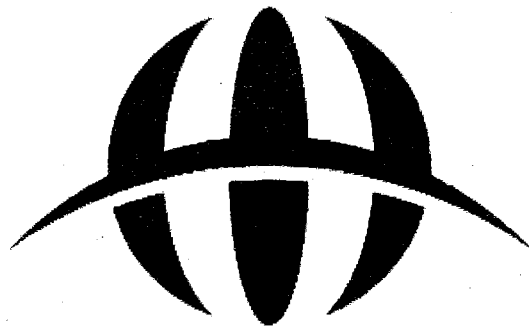
日 時 平成29年8月29日(火)  
午前9時  
場 所 第2委員会室

## ～審査内容～

- 1 議案第57号 平成28年度山陽小野田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（国保）
- 2 議案第59号 平成28年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（国保）
- 3 議案第58号 平成28年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（高齢）
- 4 議案第67号 平成28年度養護老人ホーム長生園組合一般会計歳入歳出決算認定について（高齢）
- 5 議案第68号 平成28年度養護老人ホーム長生園組合特別会計歳入歳出決算認定について（高齢）
- 6 議案第64号 平成28年度山陽小野田市病院事業決算認定について（病院）
- 7 所管事務調査 空家対策の進捗状況について（生活）
- 8 陳情・要望について
- 9 閉会中の所管事務調査について

平成29年度  
(平成28年度実績)

## 山陽小野田市の国保



健康福祉部国保年金課

平成29年8月25日作成

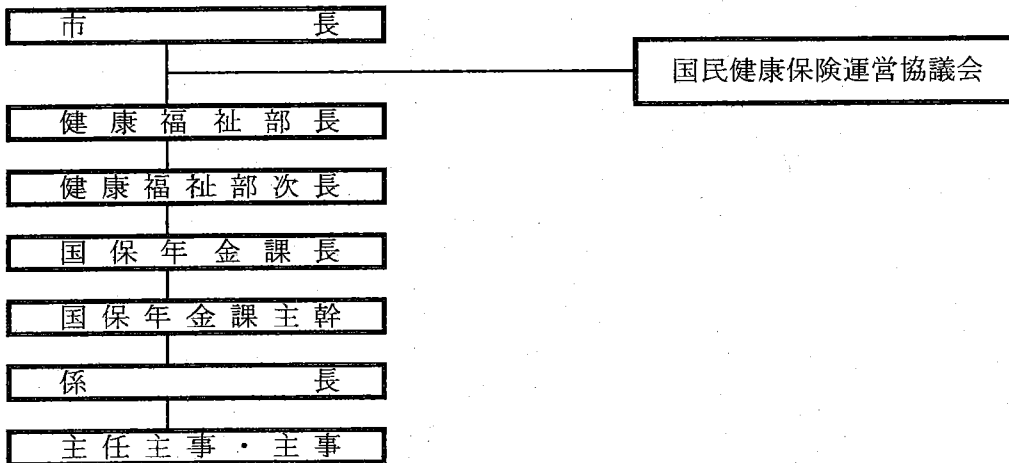
# 目 次

1 事務機構、職員体制及び事務分掌	1
2 国民健康保険運営協議会	2
3 被保険者	
年度別人口・世帯数・被保険者の推移	3
国保被保険者数の内訳	4
被保険者異動状況	5
年齢階層別被保険者数	6
4 保険給付	
医療費（療養諸費）	7
療養給付費	8
療養費	9
業種別医療費等諸率の推移	10
高額療養費、高額介護合算療養費	11
任意給付	11
医療統計	
年齢階層別性別診療	12
年齢階層別入院・入院外診療費	13
疾病大分類別集計	14
疾病大分類別集計推移	15
疾病中分類別診療費順位の推移	16
疾病中分類別件数順位の推移	17
校区別診療状況	18
中学校区別一人当たり平均医療費（外来・入院）	19
疾病別医療費分析（外来）	20
疾病別医療費分析（入院）	21
5 保健事業	
特定健診	22
特定保健指導	23
内臓脂肪症候群の該当者・予備群の減少率	23
はり・きゅう施術補助	24
各種検診受診状況	24
保健師等による訪問指導状況	24

6 保険料	
保険料率	25
算定額割合	26
保険料（現年度分）1人当たり調定額	27
課税対象額等の推移（医療給付費分）	28
保険料軽減状況	29
保険料収納状況の推移	30
不納欠損処分等の推移	31
納付方法別収納状況	32
滞納、督促、差押え等の状況	32
申請減免実施数及び減免額	33
7 保険財政	
国民健康保険の収支状況	34
国民健康保険事業収支状況（被保険者1人当たり）	35
国庫支出金の状況	36
県支出金の状況	36
前期高齢者交付金の状況	36
一般会計繰入金の状況	37
所得別世帯状況	38
所得別滞納世帯・短期証世帯・資格証世帯状況	39
所得別差押件数	39
所得内容別人数状況	40

# 1 事務機構、職員体制及び事務分掌 (H29. 4. 1現在)

## ■事務機構



## ■職員数

20. 4. 1	13名	(課長1 補佐1 主査2 主任2 主事7 )	嘱託1 臨時3	計17名
20. 7. 1	14名	(課長1 補佐1 主査2 主任2 主事8 )	嘱託1 臨時3	計18名
21. 4. 1	15名	(課長1 補佐1 主査3 主任2 主事8 )	嘱託1 臨時3	計19名
21.10.1	16名	(課長1 補佐1 主査3 主任2 主事9 )	嘱託1 臨時3	計20名
22. 4. 1	16名	(課長1 主幹1 補佐1 主査1 主任1 主事11)	嘱託1 臨時3	計20名
		※1名は南支所勤務		
23. 4. 1	15名	(課長1 補佐1 主査1 係長2 主任2 主事8 )	嘱託1 臨時2	計18名
24. 4. 1	17名	(内兼務2) (課長1 補佐1 主査1 係長1 主任3 主事9 技師1 )	臨時1	計18名
25. 4. 1	15名	(課長1 補佐1 係長3 主事10)	臨時1	計16名
26. 4. 1	15名	(課長1 主幹1 係長3 主事10)	臨時1	計16名
26.10.1	14名	(課長1 係長3 主事10)	臨時1	計15名
27. 4. 1	15名	(課長1 主幹1 係長3 主任主事6 主事4)	臨時1	計16名
28. 4. 1	15名	(課長1 主幹1 係長3 主任3 主任主事1 主事6)	臨時1	計16名
29. 4. 1	15名	(課長1 主幹1 係長4 主任主事1 主事8)	臨時1	計16名

## ■事務分掌

- 課長、主幹 2名
  - 1 国民健康保険事業の企画及び運営に関する事項
  - 2 特別会計の予算及び決算に関する事項
  - 3 国民健康保険運営協議会に関する事項
- 国保係 6名
  - 1 国民健康保険料の賦課、徴収、督促及び滞納処分に関する事項
  - 2 国民健康保険の給付に関する事項
  - 3 国民健康保険の資格に関する事項
- 収納係 3名
  - 1 国民健康保険料及び後期高齢者医療保険料の徴収、督促及び滞納処分に関する事項
- 年金高齢医療係 4名
  - 1 後期高齢者医療に関する事項
  - 2 国民年金の普及に関する事項
- 特定健診係 1名
  - 1 国民健康保険の特定健康診査及び特定保健指導に関する事項
  - 2 後期高齢者医療の健康診査に関する事項

## 2 国民健康保険運営協議会

国民健康保険運営協議会は、国民健康保険法第11条及び国民健康保険法施行令第3条の規定に基づき、市長の諮問機関として国民健康保険事業の運営に関する重要事項その他必要事項を審議する機関である。

### ■山陽小野田市国民健康保険運営協議会委員名簿（平成29年3月31日現在）

任期：平成27年8月1日～平成29年7月31日（敬称略）

	代表区分	氏名
被保険者代表	被保険者	雨宮宏枝
	被保険者	酒井和枝
	被保険者	高松真智子
	被保険者	古谷義彦
保険医等代表	小野田医師会	藤村嘉彦
	厚狭郡医師会	吉武和夫
	小野田歯科医師会	山田文隆
	山陽小野田薬剤師会	藤原哲
公益代表	山陽商工会議所	加藤政明
	小野田商工会議所	◎河東繁太郎
	山陽小野田市老人クラブ連合会	○平田武
	山陽小野田市女性団体連絡協議会	末富みどり
被用者保険代表	全国健康保険協会山口支部	上田浩之
	山陽小野田市人事課長	城戸信之

◎会長 ○副会長

### ■協議会開催状況

- |            |                   |                          |
|------------|-------------------|--------------------------|
| 20. 2. 27  | ①平成20年度歳入歳出予算     | ②条例の一部改正                 |
|            | ③特定健康診査等実施事業費計画   | ④高医療費指定市町村の指定            |
|            | ⑤後期高齢者医療に関する条例の制定 |                          |
| 20. 9. 4   | ①平成19年度歳入歳出決算     | ②国民健康保険事業運営安定化計画         |
| 21. 2. 26  | ①平成21年度歳入歳出予算     | ②平成21年度における国保制度改正        |
|            | ③収納率及び療養の給付状況     |                          |
| 21. 9. 10  | ①平成20年度歳入歳出決算     | ②平成21年度歳入歳出補正予算          |
|            | ③条例の一部改正          |                          |
| 22. 3. 4   | ①平成21年度歳入歳出補正予算   | ②条例の一部改正                 |
|            | ③平成22年度歳入歳出予算     |                          |
| 22. 10. 14 | ①平成21年度歳入歳出決算     | ②平成22年度歳入歳出補正予算          |
|            | ③条例の一部改正          |                          |
| 23. 3. 17  | ①平成22年度歳入歳出補正予算   | ②条例の一部改正                 |
|            | ③平成23年度歳入歳出予算     |                          |
| 23. 9. 29  | ①平成22年度歳入歳出決算     | ②一部負担金の徴収猶予及び減免に関する要綱の改正 |
| 24. 2. 23  | ①平成23年度補正予算       | ②平成24年度歳入歳出予算            |
| 24. 9. 27  | ①平成23年度歳入歳出決算     |                          |
| 25. 2. 14  | ①平成24年度補正予算       | ②平成25年度歳入歳出予算            |
|            | ③条例の一部改正          |                          |
| 25. 8. 29  | ①平成24年度歳入歳出決算     | ②条例の一部改正                 |
|            | ③平成25年度補正予算       |                          |
| 26. 2. 20  | ①平成25年度補正予算       | ②平成26年度歳入歳出予算            |
|            | ③条例の一部改正          |                          |
| 26. 8. 21  | ①平成25年度歳入歳出決算     |                          |
| 27. 2. 19  | ①平成26年度補正予算       | ②平成27年度歳入歳出予算            |
|            | ③条例の一部改正          |                          |
| 27. 8. 27  | ①平成26年度歳入歳出決算     | ②平成27年度国民健康保険料率          |
| 28. 2. 18  | ①平成27年度補正予算       | ②平成28年度歳入歳出予算            |
|            | ③条例の一部改正          |                          |
|            |                   | ④国民健康保険データヘルス計画          |
| 28. 8. 25  | ①平成27年度歳入歳出決算     | ②平成28年度補正予算              |
|            | ③平成28年度国民健康保険料率   |                          |
| 29. 2. 16  | ①平成28年度補正予算       | ②平成29年度歳入歳出予算            |
|            | ③条例の一部改正          |                          |
|            |                   | ④平成29年度国民健康保険料率          |
|            | ⑤県広域化             |                          |

### 3 被保険者

■年度別人口・世帯数・被保険者数の推移（年度末現在）

（単位：世帯、%、人）

年度	世 帯 数			人 口		
	全 市	国保加入世帯	加入率	全 市	国保被保険者	加入率
元	15,631	6,400	40.94	47,224	13,075	27.69
2	15,408	6,434	41.76	46,491	12,902	27.75
3	15,875	6,510	41.01	46,914	12,703	27.08
4	16,050	6,594	41.08	46,866	12,681	27.06
5	16,267	6,656	40.92	46,993	12,690	27.00
6	16,410	6,812	41.51	46,913	12,739	27.15
7	16,079	7,004	43.56	45,946	12,923	28.13
8	16,868	7,114	42.17	46,752	13,006	27.82
9	17,088	7,287	42.64	46,766	13,161	28.14
10	17,231	7,499	43.52	46,481	13,445	28.93
11	17,366	7,766	44.72	46,203	13,802	29.87
12	16,735	8,013	47.88	45,085	14,063	31.19
13	17,637	8,287	46.99	45,998	14,502	31.53
14	17,837	8,563	48.01	45,967	14,976	32.58
15	18,029	8,869	49.19	45,840	15,537	33.89
16	27,223	13,868	50.94	67,618	24,078	35.61
17	27,478	14,053	51.14	67,855	24,255	35.75
18	27,681	14,236	51.43	67,610	24,300	35.94
19	27,721	14,184	51.17	67,039	23,806	35.51
20	27,992	9,708	34.68	66,777	15,910	23.83
21	28,175	9,484	33.66	66,442	15,499	23.33
22	28,336	9,476	33.44	66,157	15,630	23.63
23	28,390	9,394	33.09	65,740	15,197	23.12
24	28,465	9,363	32.89	65,275	15,086	23.11
25	28,459	9,259	32.53	64,758	14,797	22.85
26	28,600	9,228	32.27	64,433	14,637	22.72
27	28,701	8,951	31.19	64,100	14,048	21.92
28	28,837	8,583	29.76	63,777	13,293	20.84

■国保被保険者数の内訳（年度間平均）

（単位：人、％）

年度	一般	割合	退職	割合	老人	割合	合計
元	7,549	57.74%	2,700	20.65%	2,826	21.61%	13,075
2	7,216	55.93%	2,666	20.66%	3,020	23.41%	12,902
3	6,867	54.06%	2,651	20.87%	3,185	25.07%	12,703
4	6,717	52.97%	2,605	20.54%	3,359	26.49%	12,681
5	6,579	51.84%	2,593	20.43%	3,518	27.72%	12,690
6	6,406	50.29%	2,599	20.40%	3,734	29.31%	12,739
7	6,373	49.32%	2,609	20.19%	3,941	30.50%	12,923
8	6,216	47.79%	2,621	20.15%	4,169	32.05%	13,006
9	6,112	46.44%	2,686	20.41%	4,363	33.15%	13,161
10	6,131	45.60%	2,731	20.31%	4,583	34.09%	13,445
11	6,172	44.72%	2,788	20.20%	4,842	35.08%	13,802
12	6,097	43.35%	2,736	19.46%	5,230	37.19%	14,063
13	6,230	42.96%	2,737	18.87%	5,535	38.17%	14,502
14	6,437	42.98%	2,762	18.44%	5,777	38.58%	14,976
15	6,734	43.34%	3,130	20.15%	5,673	36.51%	15,537
16	10,044	41.71%	5,438	22.58%	8,596	35.70%	24,078
17	9,812	40.45%	6,044	24.92%	8,399	34.63%	24,255
18	9,690	39.88%	6,495	26.73%	8,115	33.40%	24,300
19	9,512	39.44%	6,814	28.25%	7,791	32.31%	24,117
20	14,171	88.59%	1,826	11.41%			15,997
21	14,526	91.23%	1,397	8.77%			15,923
22	14,158	90.58%	1,472	9.42%			15,630
23	13,761	88.99%	1,703	11.01%			15,464
24	13,634	89.26%	1,640	10.74%			15,274
25	13,586	90.25%	1,468	9.75%			15,054
26	13,668	91.74%	1,230	8.26%			14,898
27	13,702	94.07%	863	5.93%			14,565
28	13,261	96.11%	537	3.89%			13,798



■被保険者異動状況

(単位：人)

年度		22	23	24	25	26	27	28
異動事由								
資格取得	転入	429	413	488	450	420	406	368
	社保離脱	1,906	1,882	2,162	1,973	1,833	1,617	1,560
	生保廃止	65	67	75	50	55	45	47
	出生	56	55	55	40	49	58	26
	後期離脱	1	1	1	1	0	4	2
	その他	14	11	18	18	11	10	16
	計	2,471	2,429	2,799	2,532	2,368	2,140	2,019
資格喪失	転出	328	380	375	378	365	341	316
	社保加入	1,352	1,194	1,559	1,652	1,310	1,446	1,474
	生保開始	81	112	90	65	61	54	64
	死亡	109	125	126	111	110	89	90
	後期加入	737	720	727	555	645	761	773
	その他	28	36	33	60	37	38	57
	計	2,635	2,567	2,910	2,821	2,528	2,729	2,774
増減		△ 164	△ 138	△ 111	△ 289	△ 160	△ 589	△ 755

■年齢階層別被保険者数(平成29年5月末現在)

(単位：人、%、歳)

年齢階層	一般被保険者			退職被保険者			一般+退職被保険者			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	構成比
0～4歳	94	93	187	0	0	0	94	93	187	1.40%
5～9歳	132	104	236	1	0	1	133	104	237	1.78%
10～14歳	151	113	264	1	1	2	152	114	266	2.00%
15～19歳	151	128	279	0	1	1	151	129	280	2.10%
20～24歳	132	140	272	1	2	3	133	142	275	2.07%
25～29歳	126	123	249	2	0	2	128	123	251	1.89%
30～34歳	167	142	309	3	1	4	170	143	313	2.35%
35～39歳	211	208	419	3	1	4	214	209	423	3.18%
40～44歳	271	233	504	1	0	1	272	233	505	3.79%
45～49歳	266	243	509	0	0	0	266	243	509	3.82%
50～54歳	241	224	465	0	1	1	241	225	466	3.50%
55～59歳	281	356	637	0	11	11	281	367	648	4.87%
60～64歳	479	825	1,304	155	129	284	634	954	1,588	11.93%
65～69歳	1,750	2,194	3,944	6	5	11	1,756	2,199	3,955	29.71%
70～74歳	1,603	1,805	3,408	0	0	0	1,603	1,805	3,408	25.60%
合計	6,055	6,931	12,986	173	152	325	6,228	7,083	13,311	100.00%
平均年齢	53.4	56.2	54.9	60.1	60.3	60.2	53.6	56.3	55.0	

#### 4 保険給付

##### ■医療費（療養諸費）

###### 【一般被保険者】

(単位：人、件、円)

年度	被保険者数	件数	費用額	保険者負担額	1人当たり	
					費用額	負担額
24	13,634	247,306	5,658,302,014	4,157,371,018	415,014	304,927
25	13,586	256,013	5,671,088,924	4,168,866,148	417,422	306,850
26	13,668	270,281	5,784,040,651	4,259,147,176	423,181	311,615
27	13,702	271,853	5,992,104,168	4,398,412,099	437,316	321,005
28	13,261	269,790	5,914,424,302	4,331,153,422	446,001	326,608

###### 【退職被保険者】

(単位：人、件、円)

年度	被保険者数	件数	費用額	保険者負担額	1人当たり	
					費用額	負担額
24	1,640	31,298	651,096,358	455,295,834	397,010	277,619
25	1,468	29,372	599,315,480	419,277,880	408,253	285,612
26	1,230	25,285	491,767,137	343,778,501	399,811	279,495
27	863	19,192	401,935,550	281,010,212	465,742	325,620
28	537	11,053	268,345,351	187,045,272	499,712	348,315

###### 【全被保険者】

(単位：人、件、円)

年度	被保険者数	件数	費用額	保険者負担額	1人当たり	
					費用額	負担額
24	15,274	278,604	6,309,398,372	4,612,666,852	413,081	301,995
25	15,054	285,385	6,270,404,404	4,588,144,028	416,527	304,779
26	14,898	295,566	6,275,807,788	4,602,925,677	421,252	308,963
27	14,565	291,045	6,394,039,718	4,679,422,311	439,000	321,279
28	13,798	280,843	6,182,769,653	4,518,198,694	448,092	327,453

■療養給付費

【一般被保険者】

(単位：円)

年度	費用額				調剤	食事療養費	訪問看護
	入院	入院外	歯科	計			
24	2,399,942,375	1,754,876,072	334,723,570	4,489,542,017	959,062,408	150,926,022	16,860,750
25	2,284,944,924	1,744,006,895	341,819,920	4,370,771,739	1,087,478,115	151,851,048	18,909,150
26	2,334,812,080	1,660,442,021	350,845,820	4,346,099,921	1,209,258,763	157,494,418	28,824,010
27	2,376,048,894	1,721,612,158	342,607,310	4,440,268,362	1,320,185,281	155,431,393	33,524,340
28	2,370,065,316	1,720,690,134	345,700,630	4,436,456,080	1,246,081,431	153,906,485	36,542,570

【退職被保険者】

(単位：円)

年度	費用額				調剤	食事療養費	訪問看護
	入院	入院外	歯科	計			
24	237,974,590	233,329,890	42,979,010	514,283,490	118,825,910	11,967,980	473,750
25	234,542,898	191,698,876	35,099,850	461,341,624	121,732,543	11,599,668	592,850
26	178,278,921	158,616,373	31,062,390	367,957,684	108,615,100	8,873,971	1,808,570
27	139,053,100	139,452,870	27,245,020	305,750,990	81,997,640	7,044,094	3,681,900
28	105,382,770	87,889,630	14,040,300	207,312,700	50,466,070	7,084,810	1,613,300

【全被保険者】

(単位：円)

年度	費用額				調剤	食事療養費	訪問看護
	入院	入院外	歯科	計			
24	2,637,916,965	1,988,205,962	377,702,580	5,003,825,507	1,077,888,318	162,894,002	17,334,500
25	2,519,487,822	1,935,705,771	376,919,770	4,832,113,363	1,209,210,658	163,450,716	19,502,000
26	2,513,091,001	1,819,058,394	381,908,210	4,714,057,605	1,317,873,863	166,368,389	30,632,580
27	2,515,101,994	1,861,065,028	369,852,330	4,746,019,352	1,402,182,921	162,475,487	37,206,240
28	2,475,448,086	1,808,579,764	359,740,930	4,643,768,780	1,296,547,501	160,991,295	38,155,870

■療養費

【一般被保険者】

(単位：件、円)

年度	一般診療		補装具		柔道整復		その他		計	
	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額
24	161	1,428,412	192	5,332,358	4,186	33,899,392	51	1,250,655	4,590	41,910,817
25	187	1,961,405	197	5,071,479	4,176	33,097,453	76	1,948,535	4,636	42,078,872
26	232	2,221,244	190	5,811,687	4,120	30,954,328	148	3,376,280	4,690	42,363,539
27	153	1,612,400	179	4,638,975	4,524	34,408,432	87	2,034,985	4,943	42,694,792
28	218	2,104,649	155	4,093,987	4,442	32,976,675	77	2,262,425	4,892	41,437,736

【退職被保険者】

(単位：件、円)

年度	一般診療		補装具		柔道整復		その他		計	
	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額
24	4	50,030	20	371,053	510	3,932,625	52	1,191,520	586	5,545,228
25	8	81,260	16	459,119	459	2,957,636	16	550,780	499	4,048,795
26	101	1,035,540	11	865,811	374	2,605,941	1	4,520	487	4,511,812
27	2	18,230	19	753,345	301	2,112,481	7	576,870	329	3,460,926
28	0	0	5	93,951	216	1,774,520	0	0	221	1,868,471

【全被保険者】

(単位：件、円)

年度	一般診療		補装具		柔道整復		その他		計	
	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額
24	165	1,478,442	212	5,703,411	4,696	37,832,017	103	2,442,175	5,176	47,456,045
25	195	2,042,665	213	5,530,598	4,635	36,055,089	92	2,499,315	5,135	46,127,667
26	333	3,256,784	201	6,677,498	4,494	33,560,269	149	3,380,800	5,177	46,875,351
27	155	1,630,630	198	5,392,320	4,825	36,520,913	94	2,611,855	5,272	46,155,718
28	218	2,104,649	160	4,187,938	4,658	34,751,195	77	2,262,425	5,113	43,306,207

■業種別医療費等諸率の推移

1人当たり費用額

(単位：円)

年度	計	入院	入院外	歯科	調剤	食事療養	訪問看護	療養費等
24	413,081	172,706	130,169	24,728	70,570	10,665	1,135	3,107
25	416,527	167,363	128,584	25,038	80,325	10,858	1,295	3,064
26	421,252	168,686	122,101	25,635	88,460	11,167	2,056	3,146
27	439,000	172,681	127,777	25,393	96,271	11,155	2,554	3,169
28	448,092	179,406	131,076	26,072	93,966	11,668	2,765	3,139

受診率 (レセプト件数 ÷ 被保険者数)

(単位：%)

年度	計	入院	入院外	歯科	調剤	食事療養	訪問看護	療養費等
24	1166.3%	34.3%	974.7%	155.8%	—	—	1.4%	—
25	1189.9%	33.9%	989.6%	165.0%	—	—	1.5%	—
26	1220.9%	34.0%	1013.0%	171.7%	—	—	2.1%	—
27	1232.6%	33.6%	1021.4%	174.9%	—	—	2.7%	—
28	1255.4%	35.2%	1036.7%	180.3%	—	—	3.3%	—

1件当たり日数

(単位：日)

年度	計	入院	入院外	歯科	調剤	食事療養	訪問看護	療養費等
24	2.4	17.6	1.8	2.3	—	—	7.4	—
25	2.3	17.7	1.8	2.3	—	—	7.6	—
26	2.3	18.0	1.7	2.2	—	—	8.0	—
27	2.2	18.1	1.7	2.2	—	—	8.1	—
28	2.2	18.3	1.7	2.1	—	—	7.3	—

1日当たり費用額

(単位：円)

年度	計	入院	入院外	歯科	調剤	食事療養	訪問看護	療養費等
24	14,844	28,588	7,295	6,812	3,955	1,765	10,902	—
25	15,035	27,866	7,290	6,690	4,554	1,808	11,398	—
26	15,143	27,604	6,963	6,762	5,044	1,827	11,952	—
27	15,851	28,488	7,328	6,720	5,521	1,840	11,649	—
28	16,039	27,792	7,596	6,871	5,446	1,807	11,697	—

■高額療養費、高額介護合算療養費

(単位：件、円)

年 度	高額療養費			高額介護合算療養費			
	件数	支給額	1件当たり 支給額	件数	支給額	1件当たり 支給額	
24	一般	8,445	535,257,888	63,382	15	360,245	24,016
	退職	602	63,634,146	105,705	4	371,534	92,884
	計	9,047	598,892,034	66,198	19	731,779	38,515
25	一般	8,261	489,212,227	59,219	8	280,339	35,042
	退職	511	54,546,050	106,744	0	0	0
	計	8,772	543,758,277	61,988	8	280,339	35,042
26	一般	9,945	553,733,819	55,680	10	85,763	8,576
	退職	515	52,830,864	102,584	0	0	0
	計	10,460	606,564,683	57,989	10	85,763	8,576
27	一般	9,869	600,888,683	60,886	18	313,615	17,423
	退職	461	42,672,753	92,566	1	17,825	17,825
	計	10,330	643,561,436	62,300	19	331,440	17,444
28	一般	10,163	585,488,749	57,610	13	241,568	18,582
	退職	403	34,387,910	85,330	1	16,159	16,159
	計	10,566	619,876,659	58,667	14	257,727	18,409

■任意給付

(単位：件、円)

年度	出産育児一時金			葬 祭 費		
	件数	1件の支給額	給付額	件数	1件の支給額	給付額
24	51	380,000	21,360,000	118	50,000	5,900,000
		420,000				
25	39	390,000	13,519,642	110	50,000	5,500,000
		420,000				
26	43	404,000	16,079,372	114	50,000	5,700,000
		420,000				
27	46	404,000	18,113,495	88	50,000	4,400,000
		420,000				
28	28	404,000	11,714,474	89	50,000	4,450,000
		420,000				

■年齢階層別性別診療 平成29年5月診療分

(単位：人、件、%、円)

年齢階層	男			女			計			
	被保険者数	件数	受診率	被保険者数	件数	受診率	被保険者数	件数	受診率	1人当たり診療費
0～4歳	94	91	96.8%	93	88	94.6%	187	179	95.7%	9,395
5～9歳	133	140	105.3%	104	83	79.8%	237	223	94.1%	11,230
10～14歳	152	88	57.9%	114	76	66.7%	266	164	61.7%	4,651
15～19歳	151	51	33.8%	129	58	45.0%	280	109	38.9%	6,974
20～24歳	133	29	21.8%	142	74	52.1%	275	103	37.5%	10,721
25～29歳	128	51	39.8%	123	78	63.4%	251	129	51.4%	11,330
30～34歳	170	68	40.0%	143	109	76.2%	313	177	56.5%	11,051
35～39歳	214	121	56.5%	209	158	75.6%	423	279	66.0%	18,418
40～44歳	272	141	51.8%	233	177	76.0%	505	318	63.0%	21,282
45～49歳	266	152	57.1%	243	180	74.1%	509	332	65.2%	20,915
50～54歳	241	195	80.9%	225	176	78.2%	466	371	79.6%	25,910
55～59歳	281	232	82.6%	367	326	88.8%	648	558	86.1%	30,325
60～64歳	634	678	106.9%	954	1,037	108.7%	1,588	1,715	108.0%	34,284
65～69歳	1,756	1,958	111.5%	2,199	2,651	120.6%	3,955	4,609	116.5%	30,319
70～74歳	1,603	2,144	133.7%	1,805	2,699	149.5%	3,408	4,843	142.1%	39,470
合計	6,228	6,139	98.6%	7,083	7,970	112.5%	13,311	14,109	106.0%	29,001

は、各項目の上位3位



■年齢階層別入院・入院外診療費 平成29年5月診療分

(単位：人、%、件、円)

年齢階層	被保険者数	構成比	入 院			入 院 外		
			件数	診療費	1件当たり診療費	件数	診療費	1件当たり診療費
0～4歳	187	1.40%	2	179,830	89,915	177	1,614,550	9,122
5～9歳	237	1.78%	2	982,450	491,225	221	1,656,500	7,495
10～14歳	266	2.00%	0	0	0	164	1,241,780	7,572
15～19歳	280	2.10%	1	1,026,390	1,026,390	108	933,400	8,643
20～24歳	275	2.07%	3	1,487,690	495,897	100	1,471,170	14,712
25～29歳	251	1.89%	5	1,468,660	293,732	124	1,386,550	11,182
30～34歳	313	2.35%	3	1,687,090	0	174	1,738,610	9,992
35～39歳	423	3.18%	7	3,944,050	563,436	272	3,883,730	14,278
40～44歳	505	3.79%	12	5,065,790	422,149	306	5,809,290	18,985
45～49歳	509	3.82%	14	6,688,450	477,746	318	3,998,910	12,575
50～54歳	466	3.50%	21	7,712,860	367,279	350	4,179,680	11,942
55～59歳	648	4.87%	29	12,311,450	424,533	529	7,520,870	14,217
60～64歳	1,588	11.93%	53	27,703,760	522,712	1,662	27,596,650	16,604
65～69歳	3,955	29.71%	112	64,951,570	579,925	4,497	55,686,000	12,383
70～74歳	3,408	25.60%	114	69,187,580	606,909	4,729	62,918,400	13,305
合計	13,311	100.00%	378	204,397,620	540,734	13,731	181,636,090	13,228

■は、各項目の上位3位

■疾病大分類別集計

平成29年5月診療分

(単位：件、日、円、%)

疾病大分類	件数	日数	診療費	1人当たり 診療費	受診率	1件当たり	
						日数	診療費
1. 感染症及び寄生虫症	318	573	7,116,390	535	2.39%	1.80	22,379
2. 新生物	507	1,654	69,293,750	5,206	3.81%	3.26	136,674
3. 血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	47	126	2,165,790	163	0.35%	2.68	46,081
4. 内分泌、栄養及び代謝 疾患	1,425	2,157	25,133,190	1,888	10.71%	1.51	17,637
5. 精神及び行動の障害	766	4,444	48,109,370	3,614	5.76%	5.80	62,806
6. 神経系の疾患	402	1,224	18,982,500	1,426	3.02%	3.04	47,220
7. 眼及び付属器の疾患	1,061	1,353	15,121,480	1,136	7.97%	1.28	14,252
8. 耳及び乳様突起の疾患	221	435	1,565,890	118	1.66%	1.97	7,085
9. 循環器系の疾患	2,810	4,380	58,611,890	4,403	21.11%	1.56	20,858
10. 呼吸器系の疾患	995	1,836	14,588,070	1,096	7.48%	1.85	14,661
11. 消化器系の疾患	2,693	5,391	49,533,780	3,721	20.23%	2.00	18,394
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	631	980	4,982,800	374	4.74%	1.55	7,897
13. 筋骨格系及び結合組織の 疾患	1,178	3,596	25,074,740	1,884	8.85%	3.05	21,286
14. 腎尿路生殖器系の疾患	387	1,016	21,824,710	1,640	2.91%	2.63	56,395
15. 妊娠、分娩及び産じょく	11	19	392,890	30	0.08%	1.73	35,717
16. 周産期に発生した病態	4	16	208,400	16	0.03%	4.00	52,100
17. 先天奇形、染色体異常	27	42	1,889,050	142	0.20%	1.56	69,965
18. 症状診断不明状態	178	257	2,129,820	160	1.34%	1.44	11,965
19. 損傷、中毒及びその他の 外因の影響	448	1,436	19,309,200	1,451	3.37%	3.21	43,101
合計	14,109	30,935	386,033,710	29,001	106.00%	2.19	27,361

は、各項目の上位3位

■疾病大分類別集計推移（1人当たり診療費）

（単位：円）

疾病大分類	平成25年5月分	平成26年5月分	平成27年5月分	平成28年5月分	平成29年5月分
1. 感染症及び寄生虫症	659	405	286	333	535
2. 新生物	3,878	4,281	3,811	4,087	5,206
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	138	106	216	322	163
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	2,130	1,866	1,623	1,684	1,888
5. 精神及び行動の障害	2,881	2,958	3,217	3,486	3,614
6. 神経系の疾患	1,379	1,133	1,042	1,029	1,426
7. 眼及び付属器の疾患	1,057	598	922	871	1,136
8. 耳及び乳様突起の疾患	222	174	164	186	118
9. 循環器系の疾患	4,191	4,689	5,788	4,036	4,403
10. 呼吸器系の疾患	1,208	1,329	1,015	1,279	1,096
11. 消化器系の疾患	3,106	3,405	3,458	3,196	3,721
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	366	374	537	532	374
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,975	2,022	1,850	1,791	1,884
14. 腎尿路生殖器系の疾患	1,379	1,489	1,966	1,626	1,640
15. 妊娠、分娩及び産じょく	21	23	124	13	30
16. 周産期に発生した病態	134	59	59	10	16
17. 先天奇形、染色体異常	61	46	40	82	142
18. 症状診断不明状態	174	182	323	292	160
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,321	1,207	1,156	1,696	1,451
合計	26,280	26,346	27,597	26,550	29,001

は、各項目の上位3位

■疾病中分類別診療費順位の推移

(単位：万円)

順位	平成25年5月分		平成26年5月分		平成27年5月分		平成28年5月分		平成29年5月分	
	疾病名	診療費	疾病名	診療費	疾病名	診療費	疾病名	診療費	疾病名	診療費
1	統合失調症	2,954	統合失調症	3,294	統合失調症	3,248	統合失調症	3,313	統合失調症	3,237
2	高血圧性疾患	2,383	その他の悪性新生物	2,048	高血圧性疾患	2,024	その他の悪性新生物	2,187	その他の悪性新生物	2,131
3	糖尿病	2,188	歯肉炎及び歯周疾患	2,019	その他の心疾患	2,023	高血圧性疾患	2,164	高血圧性疾患	1,975
4	歯肉炎及び歯周疾患	2,059	高血圧性疾患	1,870	歯肉炎及び歯周疾患	1,976	歯肉炎及び歯周疾患	1,824	歯肉炎及び歯周疾患	1,944
5	その他の悪性新生物	1,919	糖尿病	1,811	腎不全	1,755	骨折	1,458	糖尿病	1,435
6	その他の神経系の疾患	1,442	腎不全	1,583	糖尿病	1,487	糖尿病	1,389	腎不全	1,420
7	腎不全	1,176	脳内出血	1,311	脳梗塞	1,430	腎不全	1,300	その他の神経系の疾患	1,389
8	その他の損傷 外因の影響	1,149	その他の心疾患	1,159	その他の悪性新生物	1,103	その他の神経系の疾患	1,114	その他の心疾患	1,352
9	関節症	1,061	その他の消化器系の疾患	1,083	脊椎障害(脊椎症を含む)	1,061	脳梗塞	1,083	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	976
10	その他の心疾患	966	その他の神経系の疾患	1,077	その他の神経系の疾患	1,043	関節症	859	その他の消化器系の疾患	921

■疾病中分類別件数順位の推移

(単位：件)

順位	平成25年5月分		平成26年5月分		平成27年5月分		平成28年5月分		平成29年5月分	
	疾病名	件数	疾病名	件数	疾病名	件数	疾病名	件数	疾病名	件数
1	高血圧性疾患	2,100	高血圧性疾患	2,119	高血圧性疾患	2,131	高血圧性疾患	2,171	高血圧性疾患	2,084
2	歯肉炎及び歯周疾患	1,375	歯肉炎及び歯周疾患	1,355	歯肉炎及び歯周疾患	1,445	歯肉炎及び歯周疾患	1,374	歯肉炎及び歯周疾患	1,432
3	糖尿病	759	糖尿病	784	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	714	糖尿病	724	糖尿病	683
4	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	748	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	718	糖尿病	704	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	706	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	662
5	屈折及び調節の障害	500	その他の損傷及び外因の影響	474	屈折及び調節の障害	489	屈折及び調節の障害	480	屈折及び調節の障害	431
6	その他の損傷及び外因の影響	444	屈折及び調節の障害	471	その他の損傷及び外因の影響	431	その他の損傷及び外因の影響	358	その他の眼及び付属器の疾患	400
7	その他の眼及び付属器の疾患	367	皮膚炎及び湿疹	345	その他の眼及び付属器の疾患	334	皮膚炎及び湿疹	314	その他の損傷及び外因の影響	340
8	皮膚炎及び湿疹	362	その他の眼及び付属器の疾患	340	皮膚炎及び湿疹	313	その他の眼及び付属器の疾患	311	皮膚炎及び湿疹	311
9	喘息	312	関節症	297	気分障害	299	気分障害	301	気分障害	292
10	気分障害	280	気分障害	293	その他の消化器系疾患	282	その他の消化器系疾患	283	関節症	279

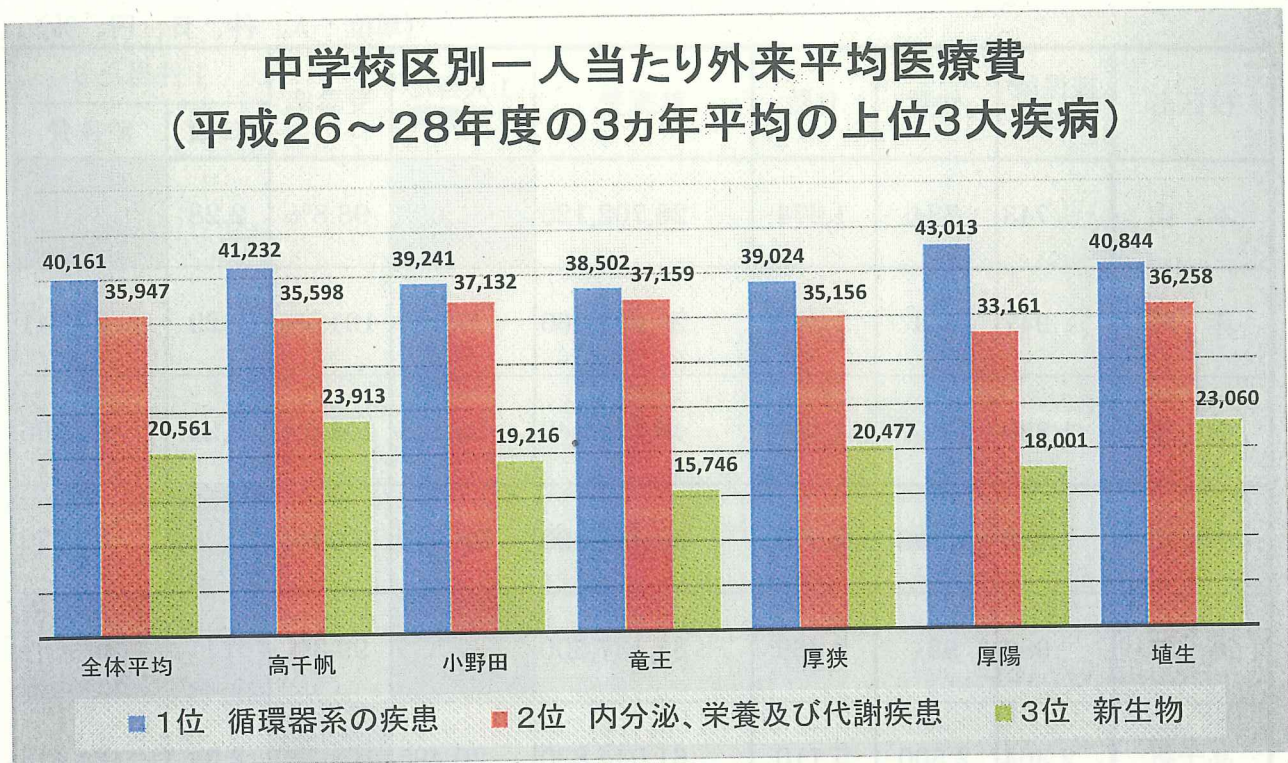
■校区別診療状況 平成29年5月診療分

(単位：人、件、日、円、%)

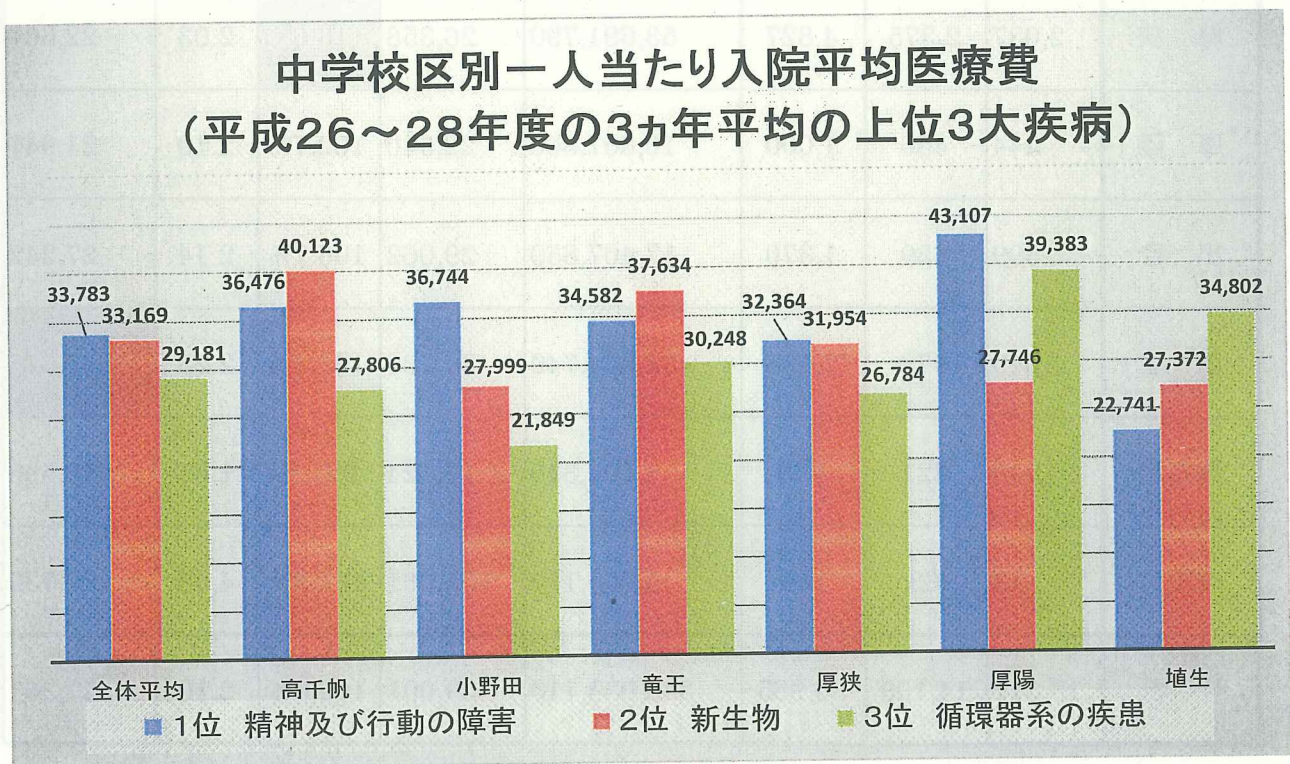
校区名	被保険者数	件数	日数	診療費	1人当たり診療費	受診率	1件当たり	
							日数	診療費
本山	743	734	1,674	26,702,120	35,938	98.8%	2.28	36,379
赤崎	947	961	2,202	25,698,360	27,137	101.5%	2.29	26,741
須恵	1,830	1,867	4,180	46,125,940	25,205	102.0%	2.24	24,706
小野田	1,289	1,296	2,975	33,397,390	25,910	100.5%	2.30	25,770
高泊	988	981	2,369	37,137,500	37,589	99.3%	2.41	37,857
高千帆	2,304	2,500	5,110	61,044,830	26,495	108.5%	2.04	24,418
有帆	923	1,038	2,382	33,729,410	36,543	112.5%	2.29	32,495
厚狭	2,037	2,375	4,827	53,691,790	26,358	116.6%	2.03	22,607
厚陽	444	456	1,000	10,007,860	22,540	102.7%	2.19	21,947
出合	599	639	1,370	17,407,850	29,062	106.7%	2.14	27,242
埴生	919	978	2,198	31,894,740	34,706	106.4%	2.25	32,612
津布田	240	221	369	4,109,810	17,124	92.1%	1.67	18,596
未設定	48	63	279	5,086,110	105,961	131.3%	4.43	80,732
合計	13,311	14,109	30,935	386,033,710	29,001	106.0%	2.19	27,361

は、各項目の上位3位  
 ※上位三位には未設定を除く。

■ 中学校区別一人当たり外来平均医療費(平成26~28年度の3カ年平均の上位3大疾病)

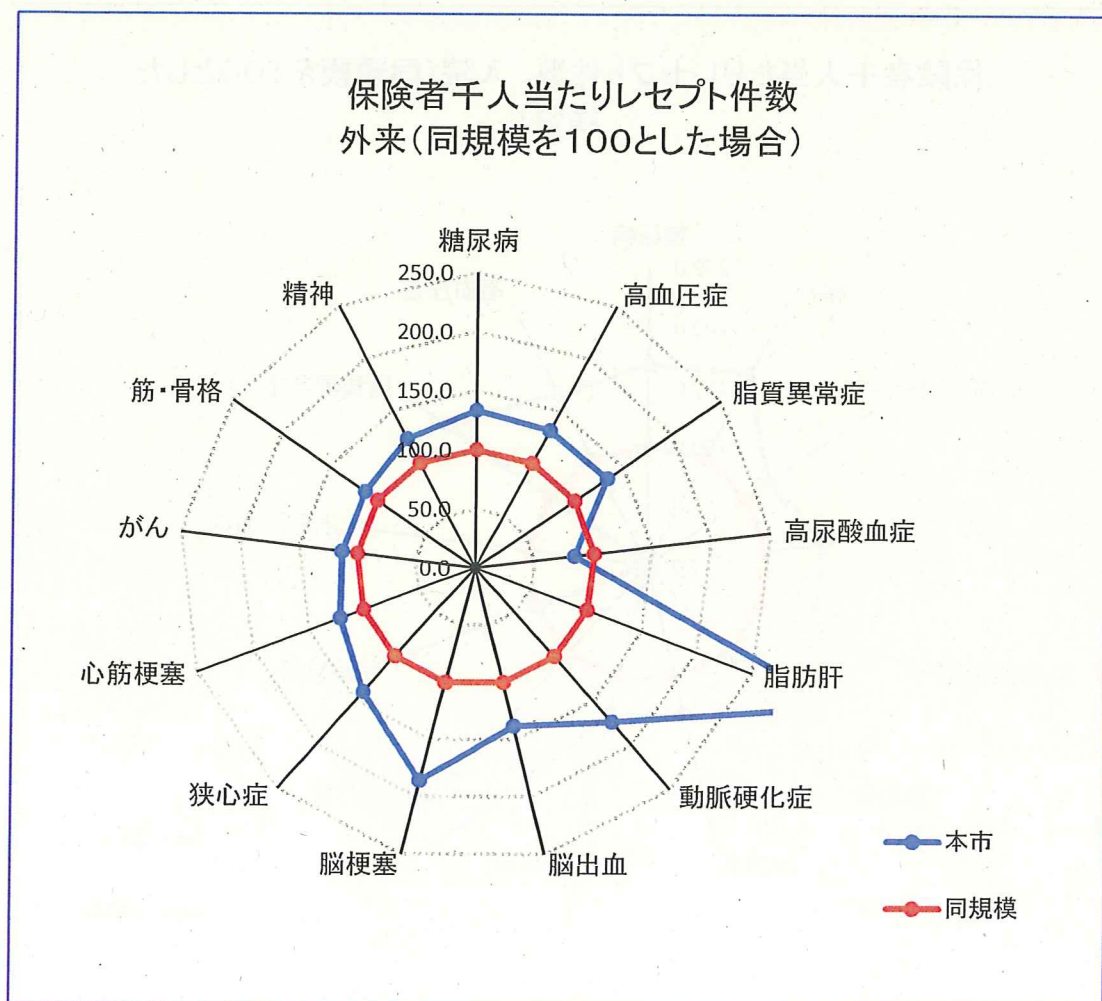


■ 中学校区別一人当たり入院平均医療費(平成26~28年度の3カ年平均の上位3大疾病)



被保険者千人当たり レセプト件数-外来	合 計			
	本市	県	同規模	国
1 糖尿病	63.789	53.409	47.818	42.672
2 高血圧症	117.234	104.964	89.289	78.859
3 脂質異常症	67.923	58.088	50.926	46.348
4 高尿酸血症	1.122	1.379	1.347	1.296
5 脂肪肝	3.936	1.796	1.190	1.163
6 動脈硬化症	1.716	1.241	0.985	0.900
7 脳出血	0.318	0.326	0.230	0.216
8 脳梗塞	8.520	9.248	4.587	4.097
9 狭心症	8.340	6.711	5.927	5.530
10 心筋梗塞	0.408	0.339	0.337	0.307
11 がん	22.625	22.070	20.040	19.514
12 筋・骨格	80.186	84.722	71.056	68.830
13 精神	44.092	43.436	35.787	35.119
計	420.207	387.729	329.520	304.851

本市の値が同規模と比較して20%以上の場合は緑色、2倍以上の場合は赤色で表示。





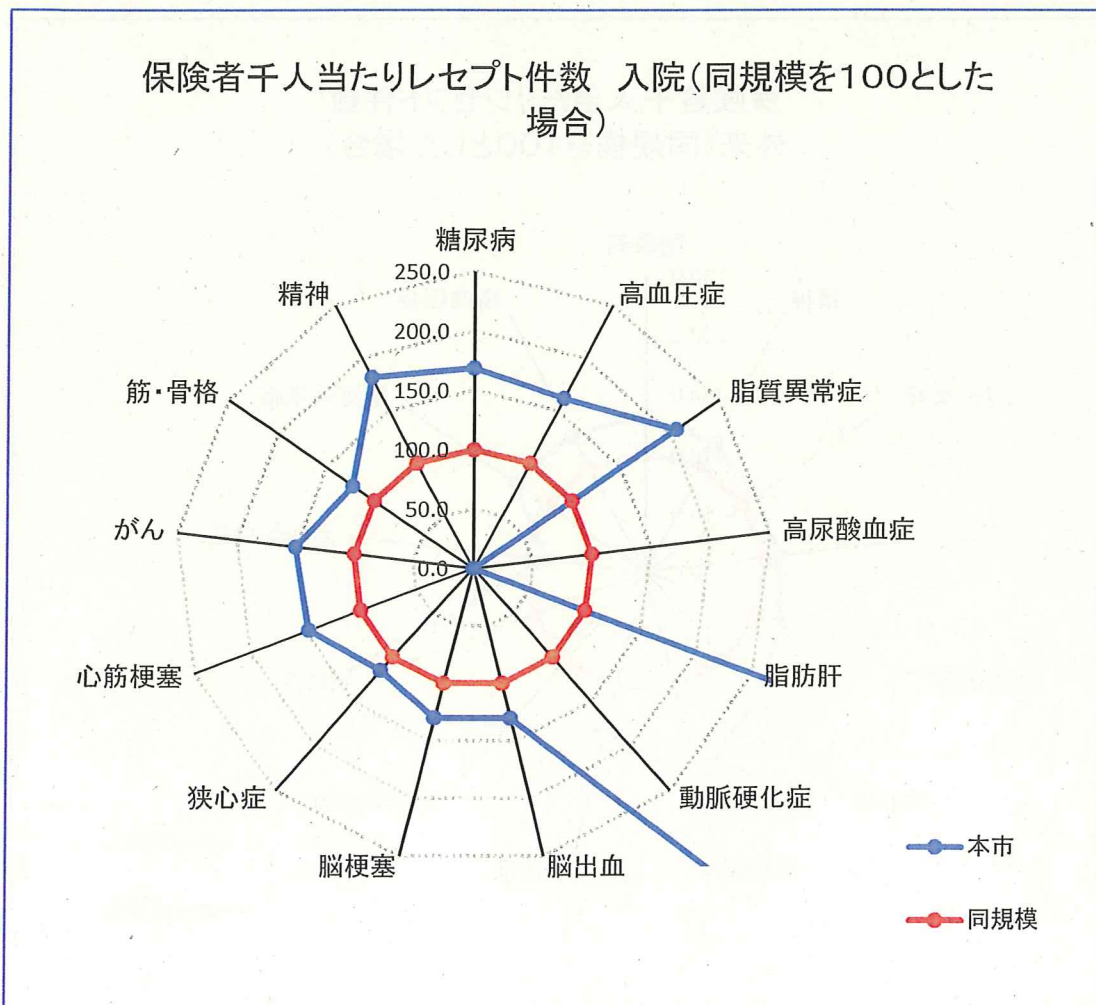
■疾病別医療費分析(生活習慣病)

入院

平成28年度累計

被保険者千人当たり レセプト件数－入院		合 計			
		本市	県	同規模	国
1	糖尿病	0.540	0.408	0.320	0.291
2	高血圧症	0.222	0.168	0.137	0.123
3	脂質異常症	0.066	0.038	0.032	0.030
4	高尿酸血症	0.000	0.004	0.003	0.003
5	脂肪肝	0.036	0.020	0.010	0.010
6	動脈硬化症	0.096	0.040	0.023	0.023
7	脳出血	0.294	0.356	0.226	0.209
8	脳梗塞	0.624	0.773	0.480	0.439
9	狭心症	0.456	0.343	0.396	0.381
10	心筋梗塞	0.084	0.065	0.057	0.053
11	がん	4.020	3.417	2.672	2.507
12	筋・骨格	1.464	1.563	1.199	1.117
13	精神	7.944	6.977	4.374	3.685
計		15.845	14.173	9.929	8.870

本市の値が同規模と比較して20%以上の場合は緑色、2倍以上の場合は赤色で表示。



## 5 保健事業

### ■特定健診

特定健診は、生活習慣病の前段階であるメタリックシンドロームの状態にある者やその予備群となっている者を抽出するために行うものである。

対象	40歳以上75歳未満の被保険者
実施時期	6月1日から1月31日まで
基本検査項目	質問票(服薬歴、喫煙歴等) 身体測定(身長、体重、腹囲、BMI) 理学的所見(身体診察) 血圧測定 肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 $\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP)) 血中脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール) 血糖検査(空腹時血糖または随時血糖、ヘモグロビンA1c) 尿検査(尿蛋白・尿糖)
追加検査項目	貧血検査(ヘマトクリット、血色素、赤血球数) 腎機能検査(血清クレアチニン) 心電図
実施形態	個別健診(各指定医療機関)、総合健診、集団健診
自己負担額	個別健診 1,000円 総合健診・集団健診 500円

### 特定健診受診状況

(単位：人、%)

年度	22	23	24	25	26	27	28
対象者数	10,937	10,897	10,731	10,820	10,765	10,531	10,079
受診者数	2,891	3,315	3,422	3,722	3,821	3,879	3,672
市受診率	26.4%	30.4%	31.9%	34.4%	35.5%	36.8%	36.4%
県平均受診率	21.1%	21.6%	22.4%	22.8%	24.4%	25.4%	—
国平均受診率	32.0%	32.7%	33.7%	34.3%	35.4%	36.3%	—

### 第2期実施計画期間の特定健診実施率の目標値

(単位：%)

年度	25	26	27	28	29
目標値	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%

■特定保健指導

特定保健指導は、特定健診でメタリックシンドロームのリスクを認められた者に対し、生活習慣改善の必要性に応じて「情報提供」「動機付け支援」「積極的支援」の指導を行うものである。

実施時期	通年（開始時6月1日）		
自己負担額	動機付け支援 500円	積極的支援 1,000円	

(単位：人、%)

年度	特定保健指導					動機付け支援			積極的支援		
	対象者数	実施者数	実施率			対象者数	実施者数	実施率	対象者数	実施者数	実施率
			市	県平均	国平均						
24	313	40	12.8%	18.4%	23.2%	247	35	14.2%	66	5	7.6%
25	346	32	9.2%	19.8%	23.7%	273	32	11.7%	73	0	0.0%
26	378	58	15.3%	17.2%	24.4%	311	50	16.1%	67	8	11.9%
27	367	31	8.4%	18.1%	25.1%	301	27	9.0%	66	4	6.1%
28	340	30	8.8%	—	—	271	29	10.7%	69	1	1.4%

第2期実施計画期間の特定保健指導実施率の目標値  
(単位：%)

年度	25	26	27	28	29
目標値	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%	60.0%

■内臓脂肪症候群の該当者・予備群の減少率

(単位：人、%)

年度	該当者	割合	予備群	割合	合計		減少率 (20年度対比)
					人数	割合	
23	540	15.2%	349	11.1%	889	26.3%	1.9%
24	540	15.8%	349	10.2%	889	26.0%	3.0%
25	619	16.6%	360	9.7%	979	26.3%	1.9%
26	666	17.4%	389	10.2%	1,055	27.6%	-3.0%
27	658	17.0%	377	9.7%	1,035	26.7%	0.4%

第2期実施計画期間の内臓脂肪症候群の該当者・予備群の減少率の目標値  
(単位：%)

年度	25	26	27	28	29
目標値	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%	60.0%

■はり・きゅう施術補助

(単位：件、円)

年度	初検料		一術		二術		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
24	56	11,200	616	431,200	543	434,400	1,215	876,800
25	81	16,200	764	534,800	1,089	871,200	1,934	1,422,200
26	106	21,200	1,037	725,900	1,482	1,185,600	2,625	1,932,700
27	94	18,800	1,247	872,900	1,660	1,328,000	3,001	2,219,700
28	96	19,200	830	581,000	1,563	1,250,400	2,489	1,850,600

初検・・・初回の施術  
 一術・・・はり又はきゅうの施術  
 二術・・・はりときゅう併用の施術

市助成額200円  
 市助成額700円  
 市助成額800円

■各種検診受診状況

(単位：%、人)

	23		24		25		26		27		28	
	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数
肝	—	34	—	60	—	70	—	2	—	—	—	—
胃	17.1%	1,865	17.9%	1,916	22.2%	2,397	25.8%	2,773	22.1%	2,330	26.4%	1,315
子宮	11.1%	409	11.3%	372	14.4%	488	12.7%	429	17.2%	558	14.1%	428
乳	11.5%	354	11.5%	337	16.6%	485	14.3%	422	24.5%	692	18.2%	489
肺	22.2%	2,417	24.5%	2,632	30.9%	3,342	34.9%	3,761	28.4%	2,996	36.0%	3,625
大腸	—	—	17.5%	1,878	20.1%	2,170	20.9%	2,248	23.4%	2,467	22.5%	2,266
前立腺	—	—	12.3%	399	12.2%	415	15.2%	413	18.6%	452	18.1%	446

■平成28年度保健師等による訪問指導状況

指導内容 \ 対象	多受診	新規国保加入者	非肥満	クレアチニン	資格世帯	合計
訪問指導	23	539	127	52	5	746
電話指導	0	20	12	5	0	37
不在等	5	179	74	29	25	312
合計	28	738	213	86	30	1,095

## 6 保険料

### ■保険料率

(単位：%、円)

年度	区 分	所得割	均等割	平等割	賦課限度額
20	医療分	7.00%	20,400	19,200	470,000
	支援分	1.15%	4,800	3,000	120,000
	介護分	2.20%	6,000	4,200	90,000
21	医療分	8.00%	24,000	21,600	470,000
		20,400 (激変緩和により減)			
	支援分	3.00%	8,400	7,200	120,000
	介護分	2.10%	6,000	4,800	100,000
22	医療分	9.50%	25,800	23,400	500,000
	支援分	3.00%	8,400	7,200	130,000
	介護分	2.50%	6,500	4,800	100,000
23	医療分	10.40%	27,800	25,200	510,000
	支援分	3.40%	8,600	7,800	140,000
	介護分	3.10%	8,600	5,400	120,000
24	医療分	10.30%	27,000	25,000	510,000
	支援分	3.30%	8,400	7,800	140,000
	介護分	3.30%	8,600	5,400	120,000
25	医療分	10.00%	26,000	25,000	510,000
	支援分	3.20%	8,200	7,800	140,000
	介護分	3.50%	8,800	6,000	120,000
26	医療分	9.90%	25,800	24,900	510,000
	支援分	3.20%	8,400	7,800	160,000
	介護分	3.50%	9,000	6,300	140,000
27	医療分	9.90%	25,800	24,900	520,000
	支援分	3.20%	8,400	7,800	170,000
	介護分	3.50%	9,000	6,300	160,000
28	医療分	9.70%	25,500	23,700	540,000
	支援分	3.20%	8,400	7,800	190,000
	介護分	3.40%	9,000	6,000	160,000
29	医療分	9.50%	24,900	23,100	540,000
	支援分	3.00%	7,800	7,200	190,000
	介護分	3.00%	8,400	5,400	160,000

■算定額割合

(単位：千円、%)

年度	区分	所得割	均等割	平等割	計
24	医療分	756,541	416,070	222,525	1,395,136
		54.23 %	29.82 %	15.95 %	100.00 %
	支援分	242,387	129,444	69,428	441,259
		54.93 %	29.34 %	15.73 %	100.00 %
	介護分	89,701	47,455	24,241	161,397
		55.58 %	29.40 %	15.02 %	100.00 %
計	1,088,629	592,969	316,194	1,997,792	
	54.49 %	29.68 %	15.83 %	100.00 %	
25	医療分	713,079	396,604	224,594	1,334,277
		53.44 %	29.72 %	16.83 %	100.00 %
	支援分	228,186	125,082	70,073	423,341
		53.90 %	29.55 %	16.55 %	100.00 %
	介護分	87,720	46,358	26,082	160,160
		54.77 %	28.94 %	16.28 %	100.00 %
計	1,028,985	568,044	320,749	1,917,778	
	53.66 %	29.62 %	16.73 %	100.00 %	
26	医療分	702,365	387,516	221,479	1,311,360
		53.56 %	29.55 %	16.89 %	100.00 %
	支援分	227,027	126,168	69,379	422,574
		53.72 %	29.86 %	16.42 %	100.00 %
	介護分	81,358	44,343	25,969	151,670
		53.64 %	29.24 %	17.12 %	100.00 %
計	1,010,750	558,027	316,827	1,885,604	
	53.60 %	29.59 %	16.80 %	100.00 %	
27	医療分	669,496	383,259	221,255	1,274,010
		52.55 %	30.08 %	17.37 %	100.00 %
	支援分	216,403	124,782	69,309	410,494
		52.72 %	30.40 %	16.88 %	100.00 %
	介護分	76,323	40,986	24,154	141,463
		53.95 %	28.97 %	17.07 %	100.00 %
計	962,222	549,027	314,718	1,825,967	
	52.70 %	30.07 %	17.24 %	100.00 %	
28	医療分	631,877	360,877	203,400	1,196,154
		52.83 %	30.17 %	17.00 %	100.00 %
	支援分	208,454	118,877	66,942	394,273
		52.87 %	30.15 %	16.98 %	100.00 %
	介護分	70,870	36,792	20,808	128,470
		55.16 %	28.64 %	16.20 %	100.00 %
計	911,201	516,546	291,150	1,718,897	
	53.01 %	30.05 %	16.94 %	100.00 %	

■保険料（現年度分）1人当たり調定額

（単位：円）

年度	区 分	医療給付分	後期支援分	介護納付金分	合 計	1世帯当たり 調定額
24	一般	74,421	23,169	6,109	103,699	172,788
	退職	83,027	25,981	24,434	109,009	
	全体	75,345	23,471	8,076	106,892	
25	一般	72,714	22,721	6,255	101,690	166,537
	退職	76,170	23,995	24,082	124,246	
	全体	73,051	22,845	7,993	103,889	
26	一般	71,369	22,939	6,368	100,677	162,709
	退職	70,250	22,616	22,998	115,863	
	全体	71,276	22,913	7,741	101,930	
27	一般	68,484	22,099	6,275	96,858	154,706
	退職	68,401	22,072	22,900	113,372	
	全体	68,479	22,097	7,260	97,837	
28	一般	67,399	22,315	6,245	95,959	150,209
	退職	64,343	21,300	21,032	106,675	
	全体	67,280	22,276	6,821	96,376	

■課税対象額等の推移(医療給付費分)

【一般被保険者】

(単位：人、世帯、%、円)

年度	課税対象被保険者数	課税対象世帯数	保険料軽減世帯数 (医療、支援分)		限度額超世帯数 (医療分)		課税対象額 (医療、支援分)	1人当たり 所得	1世帯当たり 所得
			世帯数	割合	世帯数	割合			
24	13,585	8,562	4,428	51.7%	200	2.3%	6,426,183,000	473,035	750,547
25	13,567	8,587	4,470	52.1%	179	2.1%	6,327,031,000	466,354	736,815
26	13,647	8,656	5,088	58.8%	180	2.1%	6,492,895,000	475,775	750,103
27	13,831	8,780	5,468	62.3%	148	1.7%	6,334,254,000	457,975	721,441
28	13,477	8,650	5,457	63.1%	127	1.5%	6,210,429,000	460,817	717,969

【退職被保険者】

(単位：人、世帯、%、円)

年度	課税対象被保険者数	課税対象世帯数	保険料軽減世帯数 (医療、支援分)		限度額超世帯数 (医療分)		課税対象額 (医療、支援分)	1人当たり 所得	1世帯当たり 所得
			世帯数	割合	世帯数	割合			
24	1,825	1,242	558	44.9%	23	1.9%	918,872,000	503,492	739,833
25	1,687	1,155	522	45.2%	14	1.2%	803,764,000	476,446	695,900
26	1,373	969	537	55.4%	15	1.5%	601,697,000	438,235	620,946
27	1,024	789	481	61.0%	10	1.3%	428,331,000	418,292	542,878
28	675	503	295	58.6%	8	1.6%	303,782,000	450,047	603,940

【全被保険者】

(単位：人、世帯、%、円)

年度	課税対象被保険者数	課税対象世帯数	保険料軽減世帯数 (医療、支援分)		限度額超世帯数 (医療分)		課税対象額 (医療、支援分)	1人当たり 所得	1世帯当たり 所得
			世帯数	割合	世帯数	割合			
24	15,410	9,804	4,986	50.9%	223	2.3%	7,345,055,000	476,642	749,190
25	15,254	9,742	4,992	51.2%	193	2.0%	7,130,795,000	467,470	731,964
26	15,020	9,625	5,625	58.4%	195	2.0%	7,094,592,000	472,343	737,100
27	14,855	9,569	5,949	62.2%	158	1.7%	6,762,585,000	455,240	706,718
28	14,152	9,153	5,752	62.8%	135	1.5%	6,514,211,000	460,303	711,702



■保険料軽減状況

(単位：世帯、人、千円)

年 度		7 割 軽 減			5 割 軽 減			2 割 軽 減			合 計		
		世帯数	被保数	軽減額	世帯数	被保数	軽減額	世帯数	被保数	軽減額	世帯数	被保数	軽減額
24	医療	2,893	3,862	121,073	546	1,283	23,583	1,420	2,496	19,993	4,859	7,641	164,649
	支援	2,893	3,862	37,710	546	1,283	7,342	1,420	2,496	6,226	4,859	7,641	51,278
	介護	1,353	1,485	14,054	275	381	2,381	600	769	1,971	2,228	2,635	18,406
	計	4,246	5,347	172,837	821	1,664	33,306	2,020	3,265	28,190	7,087	10,276	234,333
25	医療	2,870	3,869	118,755	550	1,277	23,001	1,466	2,502	19,793	4,886	7,648	161,549
	支援	2,870	3,869	37,290	550	1,277	7,233	1,466	2,502	6,219	4,886	7,648	50,742
	介護	1,324	1,444	14,456	267	371	2,433	588	733	1,996	2,179	2,548	18,885
	計	4,194	5,313	170,501	817	1,648	32,667	2,054	3,235	28,008	7,065	10,196	231,176
26	医療	2,915	3,873	118,894	1,371	2,561	48,904	1,209	2,236	17,109	5,495	8,670	184,907
	支援	2,915	3,873	38,106	1,371	2,561	15,727	1,209	2,236	5,502	5,495	8,670	59,335
	介護	1,285	1,401	14,493	569	725	5,055	478	610	1,700	2,332	2,736	21,248
	計	4,200	5,274	171,493	1,940	3,286	69,686	1,687	2,846	24,311	7,827	11,406	265,490
27	医療	3,030	3,979	122,817	1,588	2,900	55,727	1,189	2,162	16,562	5,807	9,041	195,106
	支援	3,030	3,979	39,359	1,588	2,900	17,918	1,189	2,162	5,325	5,807	9,041	62,602
	介護	1,239	1,342	13,918	584	739	5,165	450	562	1,579	2,273	2,643	20,662
	計	4,269	5,321	176,094	2,172	3,639	78,810	1,639	2,724	23,466	8,080	11,684	278,370
28	医療	2,898	3,776	114,169	1,611	2,911	54,878	1,147	2,015	15,236	5,656	8,702	184,283
	支援	2,898	3,776	37,595	1,611	2,911	18,072	1,147	2,015	5,017	5,656	8,702	60,684
	介護	1,122	1,212	12,348	557	678	4,722	393	488	1,350	2,072	2,378	18,420
	計	4,020	4,988	164,112	2,168	3,589	77,672	1,540	2,503	21,603	7,728	11,080	263,387

■ 保険料収納状況の推移

(単位：千円、%)

年度	区分	調定額	収納額	還付未済額	不納欠損額	未収額	収納率	
24	一般	現年分	1,413,829	1,259,330	840	0	154,499	89.13%
		滞繰分	338,249	74,722	92	43,749	219,778	22.12%
		計	1,752,078	1,334,052	932	43,749	374,277	76.19%
	退職	現年分	218,846	207,772	12	0	11,074	94.95%
		滞繰分	21,231	6,922	0	1,551	12,758	32.60%
		計	240,077	214,694	12	1,551	23,832	89.43%
	合計	現年分	1,632,675	1,467,102	852	0	165,573	89.91%
		滞繰分	359,480	81,644	92	45,300	232,536	22.74%
		計	1,992,155	1,548,746	944	45,300	398,109	77.79%
25	一般	現年分	1,381,559	1,252,480	34	0	129,078	90.66%
		滞繰分	368,343	87,263	0	34,937	246,144	23.69%
		計	1,749,902	1,339,743	34	34,937	375,222	76.56%
	退職	現年分	182,393	173,838	0	0	8,555	95.31%
		滞繰分	24,524	9,412	0	1,093	14,019	38.38%
		計	206,917	183,250	0	1,093	22,574	88.56%
	合計	現年分	1,563,952	1,426,318	34	0	137,633	91.20%
		滞繰分	392,867	96,675	0	36,030	260,163	24.61%
		計	1,956,819	1,522,993	34	36,030	397,796	77.83%
26	一般	現年分	1,376,048	1,248,048	639	0	127,361	90.74%
		滞繰分	370,161	91,146	0	52,132	226,882	24.62%
		計	1,746,209	1,339,194	639	52,132	354,243	76.73%
	退職	現年分	142,512	136,962	4	0	5,545	96.11%
		滞繰分	23,227	8,737	0	1,891	12,599	37.62%
		計	165,739	145,699	4	1,891	18,144	87.91%
	合計	現年分	1,518,560	1,385,010	643	0	132,906	91.25%
		滞繰分	393,388	99,883	0	54,023	239,481	25.39%
		計	1,911,948	1,484,893	643	54,023	372,387	77.70%
27	一般	現年分	1,327,153	1,202,001	847	0	125,152	90.63%
		滞繰分	346,955	82,600	5	22,735	241,621	23.81%
		計	1,674,108	1,284,601	852	22,735	366,773	76.78%
	退職	現年分	97,840	94,339	34	0	3,501	96.46%
		滞繰分	18,349	6,430	0	827	11,092	35.04%
		計	116,189	100,769	34	827	14,593	86.76%
	合計	現年分	1,424,993	1,296,340	881	0	128,653	91.03%
		滞繰分	365,304	89,030	5	23,562	252,713	24.37%
		計	1,790,297	1,385,370	886	23,562	381,366	77.43%
28	一般	現年分	1,272,516	1,173,365	825	0	99,151	92.27%
		滞繰分	358,937	89,809	110	18,626	250,502	25.05%
		計	1,631,453	1,263,174	935	18,626	349,653	77.48%
	退職	現年分	57,284	55,538	14	0	1,747	96.98%
		滞繰分	14,781	4,309	0	290	10,181	29.15%
		計	72,065	59,847	14	290	11,928	83.07%
	合計	現年分	1,329,800	1,228,903	839	0	100,898	92.48%
		滞繰分	373,718	94,118	110	18,916	260,683	25.21%
		計	1,703,518	1,323,021	949	18,916	361,581	77.72%

■不納欠損処分の推移

(単位：人、円、%)

年度	内訳	滞納繰越額 (調定額)	不納欠損額	不納欠損率	被保険者数	1人当たり 不納欠損額	
24	滞繰料	347,135,048	852	45,190,962	13.02%	15,274	2,966
	滞繰税	12,344,415	7	109,039	0.88%		
	計	359,479,463	859	45,300,001	12.60%		
25	滞繰料	381,729,740	585	35,108,718	9.20%	15,054	2,393
	滞繰税	11,137,378	12	921,332	8.27%		
	計	392,867,118	597	36,030,050	9.17%		
26	滞繰料	384,120,820	704	51,808,327	13.49%	14,898	3,626
	滞繰税	9,267,309	22	2,214,931	23.90%		
	計	393,388,129	726	54,023,258	13.73%		
27	滞繰料	358,725,161	510	23,515,671	6.56%	14,565	1,618
	滞繰税	6,578,937	2	45,900	0.70%		
	計	365,304,098	512	23,561,571	6.45%		
28	滞繰料	367,810,619	374	18,806,183	5.11%	13,798	1,371
	滞繰税	5,907,027	2	109,848	1.86%		
	計	373,717,646	376	18,916,031	5.06%		

■納付方法別収納状況 — 平成28年度

◎納入期限内の収納状況 (単位：世帯、千円、%)

納入方法	世帯数	調定額	収納額	収納率
口座振替	3,016	590,307	571,194	96.76%
特別徴収	2,325	203,147	203,147	100.00%
自主納付	3,242	536,346	385,316	71.84%
内コンビニ	—	139,243	126,659	90.96%
小計	8,583	1,329,800	1,159,657	87.21%

◎納入期限後の収納状況 (単位：千円、人)

戸別徴収			その他(窓口収納等)	収納額小計
職員	嘱託徴収員			
収納額	人数	収納額	収納額	
5	0	0	69,241	69,246

◎合計 (単位：世帯、千円、%)

世帯数	調定額	収納額	住所不明被保険者に係る住基担当課未回答分の調定額	収納率
8,583	1,329,800	1,228,903	0	92.4%

※山口県国民健康保険事業参考資料より

■滞納、督促、差押え等の状況

◎滞納世帯数 6月1日現在

(単位：世帯、%)

年度	平均世帯数	滞納世帯数	割合
24	9,449	1,802	19.1%
25	9,382	1,751	18.7%
26	9,333	1,602	17.2%
27	9,211	1,517	16.5%
28	8,853	1,438	16.2%

◎短期被保険者証発行件数・資格証明書対象件数 6月1日現在

(単位：件)

年度	短期被保険者証	資格証明書
24	452	249
25	421	289
26	387	247
27	428	217
28	391	167

◎差押件数

(単位：件、円)

年度	預金口座	不動産	生命保険給与等	計	差押金額
28	206	0	325	531	12,465,086

■申請減免実施数及び減免額

(単位：件、円)

減免事由	24		25		26		27		28	
	件数	減免額	件数	減免額	件数	減免額	件数	減免額	件数	減免額
① 災害 (厚狭川水害を除く)	3	117,280	1	36,890	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	117,280	1	36,890	0	0	0	0	0	0
② 失業	9	539,640	14	798,470	5	328,980	3	100,240	2	115,940
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	539,640	14	798,470	5	328,980	3	100,240	2	115,940
③ 所得の減少	44	6,045,940	61	7,599,510	43	5,548,040	52	7,727,590	62	8,989,080
④ その他 (在監等)	9	121,890	3	39,440	4	107,080	24	609,610	10	273,530
	36	1,076,140	36	1,979,060	44	1,248,740	44	1,359,500	49	1,302,140
	45	1,198,030	39	2,018,500	48	1,355,820	68	1,969,110	59	1,575,670
合計	101	7,900,890	115	10,453,370	96	7,232,840	123	9,796,940	123	10,680,690
非自発的失業	271	29,765,130	300	38,371,470	176	22,165,970	130	15,161,300	62	8,311,730
総計	372	37,666,020	415	48,824,840	272	29,398,810	253	24,958,240	185	18,992,420

## 7 保険財政

### ■国民健康保険の収支状況

(単位：千円)

科 目		24	25	26	27	28	
入	単年度収入	保 険 料 ・ 税	1,549,691	1,523,027	1,485,538	1,386,256	1,323,971
		国 庫 支 出 金	1,323,553	1,303,296	1,487,164	1,523,101	1,506,923
		療養給付費交付金	639,180	551,139	523,161	345,901	242,358
		前期高齢者交付金	2,544,174	2,483,528	2,292,931	2,349,982	2,449,531
		県 支 出 金	311,451	310,672	353,434	338,680	324,370
		共 同 事 業 交 付 金	803,835	741,649	842,181	1,760,283	1,649,315
		一 般 会 計 繰 入 金	528,522	505,597	562,042	642,315	625,507
		そ の 他	11,455	9,891	12,943	4,865	7,630
		小 計	7,711,861	7,428,799	7,559,394	8,351,383	8,129,605
	基 金 繰 入 金	0	0	116,377	102,256	185,252	
繰 越 金	271,348	452,888	322,972	328,515	151,204		
歳 入 総 額	7,983,209	7,881,687	7,998,743	8,782,154	8,466,061		
出	単年度支出	総 務 費	103,918	94,534	92,446	100,652	110,111
		保 険 給 付 費	5,269,788	5,179,693	5,257,429	5,367,700	5,174,926
		後期高齢者支援金	749,794	779,408	785,568	781,541	767,808
		前期高齢者納付金	774	783	614	535	563
		老人保健拠出金	46	36	34	34	27
		介 護 納 付 金	301,970	325,621	313,922	278,434	252,705
		共 同 事 業 拠 出 金	807,139	802,924	847,684	1,723,044	1,657,631
		保 健 事 業 費	53,483	58,760	59,598	62,264	57,725
		そ の 他	69,665	85,985	58,136	75,418	17,028
	小 計	7,356,577	7,327,744	7,415,431	8,389,622	8,038,524	
基 金 積 立 金	173,744	230,972	254,797	241,328	145,103		
前年度繰上充用金	0	0	0	0	0		
歳 出 総 額	7,530,321	7,558,716	7,670,228	8,630,950	8,183,627		
収 支	歳入歳出差引額	452,888	322,971	328,515	151,204	282,434	
	単年度収支差引額	355,284	101,055	143,963	▲ 38,239	91,081	

■国民健康保険事業収支状況（被保険者1人当たり）

(単位：円)

科 目		24	25	26	27	28	
入	単年度収入	保 険 料 ・ 税	101,459	101,171	101,492	98,680	99,599
		国 庫 支 出 金	86,654	86,575	101,603	108,421	113,362
		療養給付費交付金	41,848	36,611	35,742	24,623	18,232
		前期高齢者交付金	166,569	164,975	156,653	167,282	184,272
		県 支 出 金	20,391	20,637	24,147	24,109	24,402
		共同事業交付金	52,628	49,266	57,538	125,305	124,074
		一般会計繰入金	34,603	33,586	38,399	45,723	47,055
		そ の 他	750	657	884	346	574
		小 計	504,902	493,478	516,458	594,489	611,570
	基金繰入金	0	0	7,951	7,279	13,936	
	繰 越 金	17,765	30,084	22,065	23,385	11,375	
	歳 入 総 額	522,667	523,562	546,474	625,153	636,881	
	出	単年度支出	総 務 費	6,804	6,280	6,316	7,165
保 険 給 付 費			345,017	344,074	359,188	382,097	389,297
後期高齢者支援金			49,090	51,774	53,670	55,634	57,760
前期高齢者納付金			51	52	42	38	42
老人保健拠出金			3	2	2	2	2
介護納付金			19,770	21,630	21,447	19,820	19,010
共同事業拠出金			52,844	53,336	57,914	122,654	124,700
保健事業費			3,502	3,903	4,072	4,432	4,342
そ の 他			4,561	5,712	3,972	5,369	1,281
小 計			481,642	486,763	506,622	597,211	604,719
基金積立金		11,375	15,343	17,408	17,179	10,916	
前年度繰上充用金	0	0	0	0	0		
歳 出 総 額	493,017	502,106	524,030	614,390	615,634		
収 支	歳入歳出差引額	29,650	21,456	22,444	10,763	21,247	
	単年度収支差引額	23,260	6,715	9,836	▲ 2,722	6,852	

■国庫支出金の状況

(単位：千円、%)

年度	総額	歳入に占める割合	療養給付費等負担金	高額医療費共同事業負担金	特定健康診査等負担金	財政調整交付金		出産育児一時金	特別対策費、その他
						普通	特別		
24	1,323,552	16.58%	950,567	33,413	6,495	325,434	7,359	50	234
25	1,303,296	16.54%	937,783	35,982	6,830	310,498	11,947	0	256
26	1,487,164	18.59%	1,079,678	40,357	7,956	348,685	10,488	0	0
27	1,523,101	17.34%	1,066,488	44,920	7,831	400,150	3,712	0	0
28	1,506,923	17.80%	1,012,168	41,512	7,989	401,127	38,371	0	5,756

■県支出金の状況

(単位：千円、%)

年度	総額	歳入に占める割合	高額医療費共同事業負担金	特定健康診査等負担金	財政調整交付金	
					普通	特別
24	311,451	3.90%	33,413	6,495	177,277	94,266
25	310,672	3.94%	35,982	6,830	167,512	100,348
26	353,434	4.42%	40,357	7,956	182,254	122,867
27	338,680	3.86%	44,920	7,831	199,607	86,322
28	324,370	3.83%	41,512	7,989	189,110	85,759

■前期高齢者交付金の状況

(単位：千円、%)

年度	総額	歳入に占める割合	今年度概算額	前前年度精算額	前前年度調整金額	(参考) 今年度確定額
24	2,544,174	31.87%	2,422,307	121,448	419	2,210,100
25	2,483,528	31.51%	2,436,702	46,793	32	2,266,519
26	2,292,931	28.67%	2,505,299	212,207	162	2,406,010
27	2,349,982	26.76%	2,520,259	170,183	94	—
28	2,449,531	28.93%	2,548,884	99,290	63	—



■一般会計繰入金の状況

(単位:千円、%)

区 分	24	25	26	27	28
保険基盤安定繰入金	364,756	258,557	295,914	396,847	386,128
保険料軽減分	213,311	211,343	242,522	259,187	250,793
医療分	151,445	149,302	170,929	183,467	176,679
後期高齢者医療分	47,167	46,894	54,846	58,863	58,180
介護分	14,700	15,147	16,747	16,857	15,934
保険者支援分	47,516	47,214	53,392	137,660	135,335
医療分	33,966	33,777	38,215	97,577	95,391
介護分	2,913	2,926	3,245	8,625	8,375
後期高齢者医療分	10,637	10,511	11,932	31,458	31,569
職員給与費等繰入金	102,764	90,922	91,505	99,813	103,472
職員給与費等	81,605	69,762	70,764	79,490	82,838
事務費等	21,159	21,160	20,741	20,323	20,634
出産育児一時金	15,638	10,306	11,524	13,501	7,761
財政安定化支援事業	64,085	81,850	102,872	100,154	97,847
その他一般会計繰入金	85,208	63,957	60,227	32,000	30,299
負担軽減対策繰入金	35,585	33,153	29,479	30,996	29,267
その他繰入金	48,849	30,000	30,000	0	0
特定健診繰入金	775	804	748	1,004	1,032
合 計	528,522	505,597	562,042	642,315	625,507
歳入に占める割合	6.62%	6.41%	7.03%	7.31%	7.39%

■所得別世帯状況

(単位：%、世帯)

所得階層	27年3月末		28年3月末		29年3月末			
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	保険料の割合	滞納額の割合
0円	2,582	28.0	2,498	27.9	2,442	28.5	3.4	4.1
33万円以下	1,017	11.0	1,030	11.5	1,014	11.8	1.8	2.2
33万円超 100万円以下	1,862	20.2	1,909	21.3	1,830	21.3	13.2	12.0
100万円超 200万円以下	2,111	22.9	2,020	22.6	1,851	21.6	31.9	26.9
200万円超 300万円以下	826	9.0	752	8.4	708	8.2	21.1	25.3
300万円超 400万円以下	326	3.5	283	3.2	309	3.6	12.3	11.0
400万円超 500万円以下	123	1.3	104	1.2	113	1.3	6.3	8.9
500万円超 600万円以下	63	0.7	53	0.6	38	0.4	2.5	0.0
600万円超 700万円以下	36	0.4	26	0.3	29	0.3	1.9	0.1
700万円超 800万円以下	14	0.2	16	0.2	15	0.2	1.1	0.0
800万円超 900万円以下	17	0.2	12	0.1	15	0.2	1.1	0.0
900万円超 1,000万円以下	9	0.1	9	0.1	9	0.1	0.7	0.0
1,000万円超	33	0.4	31	0.3	28	0.3	1.9	1.7
未申告	209	2.3	208	2.3	182	2.2	0.8	7.9
合計	9,228	100.0	8,951	100.0	8,583	100.0	100.0	100.0

■所得別滞納世帯・短期証世帯・資格証世帯状況

(単位：%、世帯)

所得階層	滞納世帯	構成比	短期証世帯	構成比	資格証世帯	構成比
0円	199	13.8	87	22.3	33	19.8
33万円以下	102	7.1	47	12.0	16	9.5
33万円超 100万円以下	174	12.1	75	19.2	32	19.2
100万円超 200万円以下	185	12.9	74	18.9	25	15.0
200万円超 300万円以下	86	6.0	41	10.5	15	9.0
300万円超 400万円以下	29	2.0	16	4.1	4	2.4
400万円超 500万円以下	16	1.1	6	1.5	3	1.8
500万円超 600万円以下	2	0.1	0	0.0	0	0.0
600万円超 700万円以下	1	0.1	0	0.0	0	0.0
700万円超 800万円以下	0	0.0	0	0.0	0	0.0
800万円超 900万円以下	0	0.0	0	0.0	0	0.0
900万円超 1,000万円以下	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1,000万円超	3	0.2	1	0.3	0	0.0
未申告	641	44.6	44	11.3	39	23.3
合計	1,438	100.0	391	100.0	167	100.0

■所得別差押件数

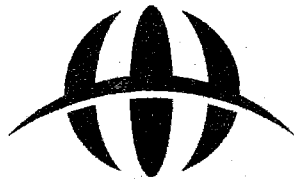
(単位：%、件数)

所得階層	件数	構成比
0円	12	8.3
1万円超 50万円以下	12	8.3
51万円超 100万円以下	21	14.5
101万円超 150万円以下	18	12.4
151万円超 200万円以下	16	11.0
201万円超 250万円以下	14	9.7
251万円超 300万円以下	4	2.8
301万円超	8	5.5
その他 (未申告・転出)	40	27.5
合計	145	100.0

■所得内容別人数状況

(単位：%、人)

所得階層	27年3月末		28年3月末		29年3月末		
	被保険者数	構成比	被保険者数	構成比	被保険者数	構成比	保険料の割合
無所得	6,439	44.0	6,110	43.5	5,736	43.2	5.1
給与所得	2,811	19.2	2,709	19.3	2,513	18.9	21.4
年金所得	3,516	24.0	3,338	23.8	3,248	24.4	45.8
営業所得	863	5.9	835	5.9	819	6.2	19.9
農業所得	31	0.2	24	0.2	21	0.2	0.7
その他所得	754	5.2	824	5.9	774	5.8	6.2
未申告	223	1.5	208	1.4	182	1.3	0.9
合計	14,637	100.0	14,048	100.0	13,293	100.0	100.0



**山陽小野田市**  
SANYO ONODA CITY

## 平成29年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (H29.5月分)

項 目		当 月	累 計 (A)	H29予算額等 (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	194.5人	190.9人	185.0人	103.2%
	外来1日平均	412.7人	403.6人	430.0人	93.9%
	入院患者数	6,028人	11,645人	67,525人	17.2%
	外来患者数	8,253人	16,143人	104,920人	15.4%
病 床 稼 働 率		90.4%	88.8%	86.0%	
平 均 在 院 日 数		15.8日	15.6日		
医 業 収 益 <small>(入院収益、外来収益のみ)</small>	入 院	229,126千円	423,274千円	2,444,405千円	17.3%
	外 来	83,653千円	158,112千円	1,007,232千円	15.7%
	計 (A)	312,779千円	581,386千円	3,451,637千円	16.8%
医 業 費 用	職員給与費	136,352千円	241,696千円	2,171,722千円	11.1%
	材 料 費	65,422千円	137,562千円	742,817千円	18.5%
	経費ほか	53,777千円	107,495千円	661,902千円	16.2%
	減価償却費等	43,460千円	86,919千円	521,515千円	16.7%
	計 (B)	299,011千円	573,672千円	4,097,956千円	14.0%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	104.6%	101.3%	84.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

# 平成29年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (H29.6月分)

項 目		当 月	累 計 (A)	H29予算額等 (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	181.1人	187.7人	185.0人	101.5%
	外来1日平均	386.2人	397.4人	430.0人	92.4%
	入院患者数	5,433人	17,078人	67,525人	25.3%
	外来患者数	8,496人	24,639人	104,920人	23.5%
病 床 稼 働 率		84.2%	87.3%	86.0%	
平 均 在 院 日 数		14.9日	15.4日		
医 業 収 益 <small>(入院収益、外来収益のみ)</small>	入 院	196,974千円	620,248千円	2,444,405千円	25.4%
	外 来	81,214千円	239,326千円	1,007,232千円	23.8%
	計 (A)	278,188千円	859,574千円	3,451,637千円	24.9%
医 業 費 用	職員給与費	203,618千円	445,314千円	2,171,722千円	20.5%
	材 料 費	64,210千円	201,772千円	742,817千円	27.2%
	経費ほか	51,004千円	158,499千円	661,902千円	23.9%
	減価償却費等	43,460千円	130,379千円	521,515千円	25.0%
	計 (B)	362,292千円	935,964千円	4,097,956千円	22.8%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	76.8%	91.8%	84.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

# 平成29年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (H29.7月分)

項 目		当 月	累 計 (A)	H29予算額等 (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	195.3人	189.6人	185.0人	102.5%
	外来1日平均	417.0人	402.2人	430.0人	93.5%
	入院患者数	6,055人	23,133人	67,525人	34.3%
	外来患者数	8,340人	32,979人	104,920人	31.4%
病 床 稼 働 率		90.8%	88.2%	86.0%	
平 均 在 院 日 数		14.9日	15.3日		
医 業 収 益 <small>(入院収益、外来収益のみ)</small>	入 院	202,745千円	822,993千円	2,444,405千円	33.7%
	外 来	75,923千円	315,249千円	1,007,232千円	31.3%
	計 (A)	278,668千円	1,138,242千円	3,451,637千円	33.0%
医 業 費 用	職員給与費	141,609千円	586,923千円	2,171,722千円	27.0%
	材 料 費	60,249千円	262,021千円	742,817千円	35.3%
	経費ほか	51,057千円	209,556千円	661,902千円	31.7%
	減価償却費等	43,460千円	173,838千円	521,515千円	33.3%
	計 (B)	296,375千円	1,232,338千円	4,097,956千円	30.1%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	94.0%	92.4%	84.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。



平成29年度資金繰表

山陽小野田市病院事業会計  
(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収 入	過年度未収金	242,691	255,648	9,227	11,663								519,229
	医業収益	39,654	57,575	287,019	305,026								689,274
	医業外収益	769	1,589	1,662	1,638								5,658
	他会計繰入金		330,454	0	0								330,454
	預り金	28,893	29,405	70,810	29,339								158,447
	企業債		0	0	0								0
	寄附金		0	0	0								0
	その他	761	1,197	1,336	1,208								4,502
	前月繰越金	95,599	76,836	32,451	57,532								262,418
	特別利益			0	0								0
合計(A)	408,367	752,704	402,505	406,406									1,969,982
支 出	過年度未払金	163,920	2,281	0	0								166,201
	人件費	130,584	136,352	322,739	141,609								731,284
	物件費	10,493	148,758	114,024	131,147								404,422
	建設改良費		0	0	2,400								2,400
	支払利息		0	1,157	0								1,157
	企業債等償還金		0	0	0								0
	長期借入金償還金		0	0	0								0
	預り金	25,485	31,099	51,469	46,349								154,402
	その他	941	1,671	4,820	1,190								8,622
	特別損失	108	92	764	0								964
合計(B)	331,531	320,253	494,973	322,695									1,469,452
差引(A-B)	76,836	432,451	▲ 92,468	83,711									
一 時 借 入	借入額		10,000	150,000									160,000
	返済額		410,000										410,000
	合計(C)		▲ 400,000	150,000	0								▲ 250,000
一時借入金残高	400,000	0	150,000	150,000									
月末残高(A-B+C)	76,836	32,451	57,532	83,711									
月間収支(※)	▲ 18,763	355,615	▲ 124,919	26,179									

※ 月間収支とは、前月繰越金を除いた純粋な月内の収支をいい、「(A)-(B)-前月繰越金」で算出します。

山陽小野田市民病院経営会議概要 【平成29年6・7・8月開催分】

開催状況	6月6日、6月20日、7月4日、7月18日、8月1日、8月22日
出席者	病院事業管理者、顧問、院長、副院長、診療部長、看護部長、医療技術部長、副看護部長、腎・透析センター長、事務部長、参与、医事課長、総務課長、市健康増進課長
主な協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練実施について</li> <li>・病院経営管理改善支援業務について</li> <li>・各月の病床稼働率報告と傾向分析による協議</li> </ul>
その他報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県自治体病院開設者協議会報告</li> <li>・在宅療養後方支援の状況について</li> <li>・各月における診療収益の状況について</li> </ul>

# 山陽小野田市病院事業改革プラン

平成 29 年 6 月改訂

山陽小野田市病院局



# 目 次

はじめに	2
I 市民病院の現状	3
II 計画期間	3
III 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	
1 地域医療構想を踏まえた市民病院の果たすべき役割	3
2 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	7
3 一般会計における経費負担の考え方	8
4 医療機能等指標にかかる数値目標の設定	11
IV 経営の効率化	
1 経営指標に係る数値目標の設定	12
2 数値目標達成に向けての具体的な取組み及び実施時期	14
V 再編・ネットワーク化に係る計画	16
VI 経営形態の見直し	17
VII 点検・評価・公表	17
VIII 新病院改革プランを踏まえた今後の経営改善のための課題	18
IX 旧病院改革プラン（平成23～27年度）の総括	20
X 収支計画	25

## はじめに

高度情報化、少子高齢化の進展、価値観の多様化とともに、社会保障費、特に医療費の抑制政策等の医療を取り巻く環境が大きく変化するなかで、医療の安全・安心の確保と高度な医療を安価に受けるニーズが強まっており、自治体病院においても先進医療施設とほぼ同等に質の高い、安全・安心な医療を提供することが求められています。

一方、国民総医療費を抑制する政策の中で、医師・看護師等の医療従事者の確保が次第に困難になり、適正な病院機能を維持することも含め、社会的にも医療の量と質の確保が厳しい現状もあります。

その中で、地域住民によって支えられてきた自治体病院の果たす役割は大きく、住民の高齢化が進行する中、医療ニーズは高くなりつつも、医療の公共性と経済性を両立させることが欠かせず、病院の経営効率を一層高めることによって、地域住民に安定した医療を提供することが責務となります。

平成27年3月に総務省より「新公立病院改革ガイドライン」が提示されました。今回の新病院改革プランについては、地域医療構想の実現に向けた取り組みと並行して、公的病院の役割を従来にも増して精査することが求められています。この基本方針に基づき、山陽小野田市における市民病院の現状と将来を見据える中で安定的な地域医療の提供に資することを目的として、新病院改革プランを策定するものです。

新たな改革プランにおいては、旧病院改革プラン（平成23年度～平成27年度まで）の取り組み状況と成果の検証を行うとともに、平成28年度を初年度とする新病院改革プランについて、地域医療構想を踏まえた、経営の効率化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直しについて今後の取り組み等を示します。

## I 市民病院の現状

### 山陽小野田市民病院

所在地	山口県山陽小野田市大字東高泊1863番地1
許可病床数	215床
標榜診療科目	内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、放射線科、泌尿器科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科口腔外科
沿革	昭和25年 内科、外科、小児科、産婦人科、眼科、皮膚科、整形外科、放射線科の8診療科で開設 昭和37年 本館・東側病棟完成 昭和55年 南側病棟完成 平成9年 腎・透析センターを開設 平成17年 合併により山陽小野田市立小野田市民病院に改称 平成20年 山陽市民病院と統合し山陽小野田市民病院に改称 平成26年 新山陽小野田市民病院完成

## II 計画期間

平成28年度から平成32年度までとします。

## III 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

### 1 地域医療構想を踏まえた市民病院の果たすべき役割

#### (1) 市民病院の果たすべき役割の概要

平成37年(2025年)を見据えた医療供給体制について、山口県においては平成27年度から地域医療構想についての協議が行われ、平成28年7月に山口県地域医療構想が策定されました。

平成27年の病床機能報告結果によると、医療機関が自主的に選択した医療機能ごとの病床数は、宇部・小野田保健医療圏においては、高度急性期547床、急性期1,661床、回復期292床、慢性期1,882床でした。これが地域医療構想の平成37年(2025年)の必要病床数の推計値では、高度急性期328床、急性期937床、回復期879床、慢性期1,064床と見積もられており、これを踏まえて地域における市民病院の役割を明確にする必要があります。

現在、山陽小野田市には、山口労災病院、小野田赤十字病院、山陽小野田市民病院の3つの公的病院が存在しています。これら3つの病院は、それぞれに役割を分担し、山口労災病院は急性期病院（平成28年度から地域包括ケア病棟を設置）、小野田赤十字病院は主として慢性期病院としての役割を担っており、山陽小野田市民病院は、これら2病院の中間的な急性期病院としての役割を担うこととなります。山口大学医学部附属病院の高度急性期機能を補完する一般病院として広く地域住民に門戸を開くとともに、地域の中核病院として、他院からの紹介状を必ずしも必要としない等、外来受診を制限せずに受診できる体制をとっています。さらに、採算性等の面から民間医療機関による提供が困難なセカンドオピニオン外来、助産師外来及び疼痛外来を設置し、幅広く患者の要望にも対応しています。

また、入院については、「急性期から納得期まで」を基本方針とします。納得期とは漠然とした表現ですが、これこそが市民病院の公益的役割であり、DPC制度による疾患別に退院時期を決めるのではなく、患者さんの病状と家庭環境・支援者の有無及び納税者の意向等を考慮して退院時期を決めることとしているため、結果的に在院日数は20日以内になっています。

このほか、第6次山口県保健医療計画で示された5疾病のうち4疾病についても、専門治療、予防診療、診療機能及び回復期を担うなど臨機応変に対応しています。

今後もこの体制を維持し、市民が気軽に受診でき、継続的かつ安定的に安心・安全、健康な暮らしを守る良質な医療を提供することが、地域に開かれた病院としての役割と考えています。

なお、この医療圏は、病床過剰であると指摘されていますが、その病床のほとんどは宇部地区に存在し、山陽小野田地区にはむしろ病床数が乏しく、市内の入院を要する患者の約半数を収容できる程度であり、多くは市外に入院せざるをえません。その傾向は今後ますます増加し、さらに、入院を必要とする患者数が増加します。平成37年（2025年）には団塊の世代が全て後期高齢者となり、医療・介護が急激に増加することとなり、医療・介護・福祉の密接な連携を含めて、地域完結の包括的ケアを推進するためには、介護・福祉施設等との連携による地域住民の保健・医療・福祉の向上にも貢献するなど幅広く地域医療の水準の維持向上に努めています。市民病院として保健部門との連携は比較的順調であり、介護・福祉との連携を一層推進していきます。

## （2）地域医療の水準を維持向上させる病院

市民病院は、各種の先進的な手術的治療や透析機能、先進的内科治療、各種臨床検査の提供など、市内民間医療機関では提供できない機能を担っています。特に腎・透析セ



ンターは、諸々の合併症患者にも対応できる透析機能を有しており、近隣地域での主要な役割を果たしています。

また、小児科や産婦人科などは経営上も採算性が取りにくい診療科ですが、少子化の時代であるだけに産科の充実には力を入れており、市内の出産数の増加だけでなく里帰り出産を含めて出産数の増加に努めています。

### (3) 救急医療の確保

山陽小野田市の救急医療については、一次も含めて主に二次救急を市内3公的病院が主に担っていますが、3病院の連携により、かろうじて救急医療が維持できている状態にあります。三次救急としての山口大学医学部附属病院が隣接していることは有利ですが、休日・夜間の二次医療の対応には苦慮しており、いずれの病院が欠けても、残った病院に大きい負荷がかかり、市内の救急医療に多大な支障を生じることは避けられません。幸いに、一次救急については医師会の心強い協力が得られており、医師会との連携は強固です。

今後も救急医療を支える体制を維持することが、当院の使命と認識していますが、年々医師の高齢化とともに勤務環境が厳しさを増している状況では、休日・夜間の一次医療の対応すらも厳しい状況にあり、一つの病院が総合医療を必要とする市内の救急医療を支えることは極めて困難な状況にあります。住民に救急対応に疲弊しつつある病院、あるいは医師や医療スタッフの実状を理解していただき、住民とともに望ましい救急体制を構築する啓発活動を行わざるをえず、市の健康福祉部を中心に行っています。

### (4) 災害医療の確保

平成7年に発生した阪神・淡路大震災を契機として災害医療体制の整備が進められましたが、東日本大震災での対応において、それまで整備された体制等の課題が明らかとなりました。これを受け、山口県においても第6次山口県保健医療計画で災害医療の拡充を図ることとされています。その目標として、災害拠点病院を15施設（28年度現在13施設）、災害派遣医療チームを32チーム（28年度現在25チーム）とされています。市の地域防災計画においては、市民病院による医療救護班を設置することとなっていますが、災害対応力の強化のため、災害拠点病院の指定を受けるための整備を進めます。現在、市内には山口労災病院が災害拠点病院の指定を受けていますが、山口県では圏域における災害拠点病院の複数整備を促進するとされています。これにより、市内の地震、台風などの自然災害から交通災害、産業災害等への対応が強化されます。特に、本市には石油貯蔵施設が立地していることから重要な機能です。

## (5) 地域医療を支える医療人の育成及び確保

これまで公的病院は、大学の医局から紹介・派遣してもらう方法で医師を確保してきましたが、平成16年度の医師臨床研修制度改定、国立大学の独立行政法人化に伴い大学医局が医師不足に直面することとなり、公的病院に医師を紹介・派遣する余裕がなくなってきました。また、医師は当直の翌日にも通常勤務を行っており、時には過剰な要求をする患者への対応など、勤務医を取巻く労働環境も年々厳しいものとなっており、自治体病院への勤務を希望しない医師が増加しています。このような状況から、自治体病院は極度の医師不足に陥っており、一部診療科の廃止や、閉院に追い込まれる病院が出てきています。幸いに当院は大学病院から距離的に近いこともあり、非常勤医師としての協力はありますが、従来の大学の医局から容易に紹介・派遣してもらえるという考え方を改めざるをえません。

本来、大学病院は、医師の供給機関でなく、医師を育成する機関であることから、自治体病院は、その育成された医師が地域医療に貢献できるよう、大学と連携して地域医療に従事する医師の養成・研修を行う体制を、早急に構築することが重要です。

一方で、現在の地域医療の状況から、公的病院の努力だけでなく、市民や自治体が総力を挙げて地域医療を堅持することが必要です。そのためには、市民に一次医療の現状を理解、認識をしてもらうことも欠かせず、市民への啓発活動を行うことが重要な課題となります。現在、市の健康福祉部とも相談し、まず行政からの啓発活動のパンフレットやホームページ掲載等の広報活動を行っています。

そのような観点から、地域医療の重要性を認識し、その地域医療の担い手となる医師を含めた医療従事者を養成し確保することが当院の重要な使命であり、医師の安定的な確保ができなければ負の連鎖により、救急医療を始めとする地域医療が衰退する恐れが生じます。そのためにも、新人医師の養成・研修とともに中堅医師が働きやすい労働条件・労働環境を整備することが重要であり、女性医師が比率的に増加している現在、女性医師が働きやすい環境整備も欠かせません。

また、医療は医師だけで行っているのではなく、看護師やコメディカルスタッフとの協働の基に成り立っているものであり、すべての医療従事者の養成・研修の場としても機能すべきです。

研修・養成機能の充実した病院が継続性を保つことを可能にするのであり、それによって地域医療の安定、市民の安心・安全、健康な暮らしを守ることが担保されることとなります。その点においては、市民病院では保健活動や福祉施設等との連携が容易であり、その特徴を活用して養成・研修機能を充実させます。さらに、大学病院とも連携し、医師等の医療従事者研修施設としての役割を担います。現在は厚狭准看護学院の准看護師養成に大きく関与しています。さらに時には、依頼を受けて医療現場の実情を介護関

係者に講義・研修を行っています。

## 2 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

地域医療構想では、将来の在宅医療の必要量を示すなど、医療と介護が総合的に確保されることが求められています。地域包括ケアシステムは、高齢者が要介護の状態になっても可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるために、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する仕組みであり、公立病院である市民病院では、介護保険事業との整合性を確保しつつ、緊急時の一時入院に必要な後方病床の確保等、積極的に在宅療養の支援を行います。

また、地域包括ケアシステムの実現に向けて、市が中心となって開催している在宅医療介護連携推進協議会等に市民病院も参加しており、保健、医療、福祉などの多職種連携によって地域の課題に取り組みます。

なお、地域医療連携室では、地域医療連携推進懇談会への参加等を通じてスタッフ間の顔が見える連携を進めており、地域の病院・診療所からの紹介を積極的に受けるとともに、高齢者の退院時には在宅復帰を目指した連携を強化し、地域包括ケアシステムにおける切れ目のない支援の一端を担います。

### (1) 介護・福祉施設等との連携強化

介護施設等との連携強化としては、訪問診療、訪問健診、入院ベッドの確保等、現在実施している体制を更に強化します。

現在、市内2か所の介護・福祉施設で嘱託医として入所者の診療や健診を行っています。

特別養護老人ホームサンライフ山陽（介護老人福祉施設）では週に2回、小野田老人ホーム（特定施設入居者介護）では週に1回、訪問による健康管理及び医学的処置を行うほか、小野田老人ホームでは年2回の入所者健診を実施しています。他にも、みつば園（指定障害者支援施設）、みつば園及びのぞみ園（いずれも指定障害福祉サービス事業所）においても予防接種や健診を実施しています。また、宇部市の扶老会病院の協力医療機関として、発病等により診療治療の必要が生じた際の受入れを行っています。今後も安心して施設等での日常生活を送り、緊急の場合は速やかに入院治療を受けることができる体制を堅持します。

市では、諸事情により在宅での介護が困難な人が住み慣れた地域での生活を続けることを支援する地域密着型サービスにおける居住施設の整備を進めていますが、これらの利用者に対しても、日常の健康管理、緊急時の受け入れ等医療面を支えるため、市の担当部署や各施設との連携を強化します。

## (2) 介護予防等啓発事業の実施

地域包括ケアシステム構築の要素の1つとして介護予防があります。

市が行った高齢者保健福祉実態調査では、自立、寝たきりに関わらず在宅生活の継続を希望する人が多いという結果が出ました。住み慣れた地域で安心して生活を続けるためには、在宅支援サービスの充実とともに、寝たきりにならないための介護予防が必要です。

市民病院では関係機関と協働して、理学療法士や作業療法士によるロコモティブシンドローム予防や認知症への対応の講演や健康相談を行う等、日常生活に役立つ健康づくりの啓発に取り組んでいます。

自らの健康づくりに関心を持って、望む限り在宅で生活を続けてもらえるように、介護保険事業と連携を取りながら、医療機関としての専門性を生かした積極的な啓発を継続します。

## (3) 地域包括ケアシステムの成立にむけて

宇部・山陽小野田・美祢圏域地域医療連携情報ネットワーク（さんさんネット）運用会議では、システムの利用範囲を拡大し、介護・福祉施設が参加できる取り組みを進めています。市民病院もさんさんネットの機能を活用して、各診療所、介護・福祉施設との連携を強化し、地域包括ケアシステムの成立に努めます。

## 3 一般会計における経費負担の考え方

地方公営企業は独立採算制を原則としていますが、地域住民の医療を確保するために採算性をとることが困難な場合でも医療を行わなければならないという自治体病院の役割を考慮し、一般会計との間の経費負担を定めます。

その性質上、病院の経営に伴う収入で賄うことが適当でないもの及び病院事業の性質上能率的な経営を行ってもなお病院の経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的困難であると認められるものとし（地方公営企業法第17条の2）、総務副大臣通知の「地方公営企業繰出金について（通知）」を原則とします。

しかしながら、一般会計が負担すべき経費の額は、合理的かつ能率的な経営を行ったと仮定した場合に最低限必要とされる経費の額を限度とすべきで、非合理的または非効率的な経営に起因する部分は一般会計の負担にはなじまないものです。

一般会計繰出金の項目、趣旨及び繰出の基準

繰出金項目	趣 旨	繰出の基準
救急医療の確保に要する経費	救急医療の確保に要する経費	医師等の待機及び空床の確保等救急医療の確保に必要な経費に相当する額
保健衛生行政事務に要する経費	集団検診、医療相談等保健衛生に要する経費	集団検診、医療相談等に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額
医師及び看護師等の研究研修に要する経費	医師及び看護師等の研究研修に要する経費の一部について繰り出すための経費	医師及び看護師等の研究研修に要する経費の2分の1
病院事業会計に係る共済追加費用の負担に要する経費	病院事業会計に係る共済追加費用の負担に要する経費の一部を繰り出すための経費	病院事業会計に係る共済追加費用の負担額の一部
基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費	経営健全化に資するため基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費	職員に係る基礎年金拠出金に係る公的負担額（前々年度における経常収支の不足額又は前年度における繰越欠損金のいずれか多い額を限度とする。）
児童手当に要する経費	児童手当に要する経費のうち一部を繰り出すための経費	3歳に満たない児童に係る給付に要する経費の15分の8、3歳以上中学校修了前の児童に係る給付に要する経費及び児童手当法附則第2条に規定する給付に要する経費の合計額
院内保育所の運営に要する経費	院内保育所の運営に要する経費のうち一部を繰り出すための経費	その運営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額
高度医療に要する経費	高度医療で採算をとることが困難であっても公立病院として行わざるを得ないものの実施に要する経費	高度医療の実施に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額

<p>医師確保対策に要する経費</p>	<p>公立病院に勤務する医師の勤務環境の改善に要する経費の一部について繰り出すための経費</p>	<p>国家公務員である病院等勤務医師について講じられる措置を踏まえて行う公立病院に勤務する医師の勤務環境の改善に要する経費のうち、経営に伴う収入をもって充てることが客観的に困難であると認められるものに相当する額</p>
<p>公立病院改革プランに要する経費</p>	<p>公立病院改革プランの実施に伴い必要な経費の一部について繰り出すための経費</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改革プランの実施状況の点検、評価及び公表に要する経費</li> <li>・改革プランに基づく公立病院の再編等の実施に伴い必要となる施設の除却等に要する経費のうち、経営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額</li> <li>・改革プランに基づき再編・ネットワーク化に伴う新たな経営主体の設立又は既存の一部事務組合若しくは広域連合への加入に伴い経営基盤を強化し、健全な経営を確保するために要する額のうち、その経営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに対する出資に要する経費</li> <li>・改革プランに基づき公立病院等の再編等を行うことに伴い、新たに必要となる建設改良費のうち、経営に伴う収入をもって充てることができないと認められる額に対する出資に要する経費</li> <li>・公立病院特例債に係る元利償還金</li> </ul>
<p>病院の建設改良に要する経費</p>	<p>病院の建設改良費について一般会計が負担するための経費</p>	<p>病院の建設改良費及び企業債元利償還金のうち、その経営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額（建設改良費及び企業債元利償還金等の2分の1を基準）</p>
<p>上記以外については、「地方公営企業繰出金について（通知）」に基づき、一般会計と病院局が協議し、双方の財政状況に応じ必要と認められたものについて繰出を決定する。</p>		

## 4 医療機能・医療品質等、指標にかかる数値目標の設定

### (1) 地域医療の充実

新病院開院を機に充実した設備を有効に活用して、地域の中核病院として先進的な手術的治療、各種臨床検査を安定して提供します。

LDR<sup>1</sup>を導入した産婦人科においては、里帰り出産も含めた出生件数の増加を目指すとともに、助産師外来の充実、産後ケア等、きめ細かいサービスの向上を図ります。

また、地域の救急医療体制を支えるため、近隣病院と連携して救急患者を受け入れ、公立病院としての役割を果たします。

公立病院には医療に従事する人材を育成する機関としての使命もあり、臨床研修医を積極的に受け入れます。

### (2) 在宅復帰率の維持・向上

地域医療構想において、各病院の機能を分担し最適な医療を提供するため、他病院からの紹介、逆紹介を積極的に行います。

また、今後ますます増加すると予測される高齢者の入院に対しては、地域包括ケアを推進するため、関係機関との協力体制を堅固にしつつ、リハビリテーションの充実等により在宅復帰を支援します。

年度 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	29年度 (予定)	30年度 (予定)	31年度 (予定)	32年度 (予定)
救急患者数	728	721	713	735	735	735	735	735
手術件数	1,196	1,098	1,333	1,250	1,300	1,300	1,300	1,300
臨床研修医受入件数				2	2	2	2	2
紹介率 (%)	23.5	22.8	24.0	26.0	29.0	32.0	35.0	35.0
逆紹介率 (%)	25.1	24.9	25.6	28.0	31.0	34.0	37.0	37.0
在宅復帰率 (%)	92.2	92.9	93.4	91.0	92.0	92.0	92.0	92.0
リハビリ件数	19,666	17,629	19,766	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
分娩件数	207	278	335	360	360	360	360	360

<sup>1</sup> 陣痛 (Labor)、分娩 (Delivery)、回復 (Recovery) の略。陣痛室・分娩室・回復室が一体となっているため、部屋を移動する必要がない。

## IV 経営の効率化

### 1 経営指標に係る数値目標

- (1) 下に掲げる諸課題の改善・強化を図ることで収益を確保し、経常収支を黒字化させることにより、段階的に累積欠損金を縮減していきます。特に、開業医や介護・福祉施設との連携に重点を置いて取り組みます。
- (2) 業務の効率的な運営と人員の適切な配置により人件費の低減を図ります。また、業務の委託や材料等の購入について、その内容等の見直しを図ることで、質を確保しつつ経費の低減に努めます。

本プラン計画期間中の財務及び医療機能に係る数値目標は下記のとおりとします。

#### (1) 収支改善に係るもの

(単位：%)

年度 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	29年度 (予定)	30年度 (予定)	31年度 (予定)	32年度 (予定)
経常収支比率	101.1	106.9	94.9	96.8	99.3	98.3	99.9	97.8
医療収支比率	98.0	92.6	92.0	91.2	94.2	93.2	94.4	94.5
累積欠損金比率	134.1	107.1	90.4	94.4	93.3	94.4	94.6	97.0
資金不足比率	1.3	9.4	△5.6	△0.4	△0.2	△1.4	△4.1	△3.2

#### ※経常収支比率に係る課題

##### ① 収入面での課題

- 常勤医の確保による診療収益の増加
- 開業医との連携、外来・入院紹介率の向上
- 救急患者の積極的な受入れによる入院患者の増
- 有料個室の有効活用
- 介護・福祉施設の連携強化
- 健診体制の強化

##### ② 経費面での課題

- 人事管理
- 委託料、材料費の削減
- 減価償却費の削減（建設等事業の抑制）
- その他経費の削減



## (2) 経費削減に係るもの

(単位：%)

年度 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	29年度 (予定)	30年度 (予定)	31年度 (予定)	32年度 (予定)
材料費対医業収益比率	27.4	21.0	21.0	21.1	20.7	20.8	20.8	20.8
薬品費対医業収益比率	19.3	12.4	12.2	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
委託費対医業収益比率	9.1	13.7	11.6	12.3	12.1	12.0	12.0	12.0
職員給与対医業収益比率	56.8	63.6	57.6	56.8	54.7	56.1	55.5	57.0
減価償却費対医業収益比率	3.6	2.6	12.7	13.1	12.8	12.6	11.8	11.0
100床当たり職員数	89.8	90.7	89.8	91.6	92.1	91.6	92.1	92.1
後発品の使用割合	7.6	7.6	8.4	8.2	8.3	8.4	8.5	8.6

※ 対医業収益比率については、平成25年度から年齢区分による院外処方段階実施、平成26年度からの完全実施により、外来診療収入が約3億円減少、投薬用医薬品が約3.5億円減少したことから、比率に変化を生じた。

## (3) 収入確保に係るもの

(単位：円、人)

年度 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	29年度 (予定)	30年度 (予定)	31年度 (予定)	32年度 (予定)
入院患者数(1日当)	165.9	161.1	177.8	180.0	182.0	182.0	182.0	182.0
診療収入(1人1日)	34,568	34,471	35,517	35,500	36,000	36,500	36,500	36,500
外来患者数(1日当)	426	434	430	450	455	455	455	455
診療収入(1人1日)	11,165	7,631	9,048	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300
病床稼働率(%)	77.2	74.9	82.7	83.7	84.7	84.7	84.7	84.7
平均在院日数(日)	13.9	12.8	15.0	16.0	17.0	17.0	17.0	17.0

## (4) 経営の安定性に係るもの

年度 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	29年度 (予定)	30年度 (予定)	31年度 (予定)	32年度 (予定)
医師数(人)	24	25	26	27	28	29	29	30
企業債残高(百万円)	1,958	5,274	5,360	5,050	4,731	4,415	4,071	3,901

## 2 数値目標達成に向けての具体的な取組み及び実施時期

### (1) 収入の確保、経営の効率化

① 医師確保については、これまで目標として常勤医師30人を目標として年次的に増員を図ってきましたが、平成32年度に目標達成できるよう、平成28年度から山口大学医学部の「協力型臨床研修病院」として医師の受け入れを行うとともに勤務医がこれまで以上に医療に専念できるよう平成28年度以降について医師クランクの増員を図ります。

また、女性医師、看護師等の確保対策の一環として夜間保育を行う院内保育所を平成27年度に開設しましたが、更に利用し易いよう運営の改善を図ります。

② 産科については新病院建設に伴い、出生件数が増加し、従来の1.5倍となったことから、更に助産師外来の充実等を含め、サービスの向上を図ります。また、透析センターはベッドを増床させうる余地があるので、良識的範囲内において増収を目指します。

③ 新病院建設により手術件数の増加を考慮した手術室の整備に合わせ、がん検診・ドック等の検診の充実を図ります。脳卒中・心筋梗塞については、CT、MRI、血管造影装置等の画像診断装置機器を高機能化し診断精度向上を図るとともに、リハビリテーション体制を充実させ、関係医療機関、介護施設・居宅サービス等との連携(地域連携パス等)を充実させます。糖尿病については、特定検診、健康教室・保健指導(栄養、運動)の充実や市の保健部門との連携・協働体制の構築を行うとともに、腎・透析センターとの連携強化を図ります。

④ 職員の病院局採用について、現在、病院局の事務職員の一部は、市長事務部局からの出向している職員であるため、定期的な異動が行われ病院運営に関する知識等の深化が図れないことから、病院局による職員の直接採用を年次的に行うことで、病院事務の専門的知識、資質の向上を図り、病院経営の効率化、収入確保等を行います。

### (2) 経費節減に係るもの

職員給与費の抑制及び適正な人員配置を図るため、これまでクランク業務、医事業務等の委託化を推進してきましたが、今後も委託料などを考慮しながら、外注化が可能な業務に関しては外注化をすすめます。また、契約方法についても、給食、医事業務、施設管理・警備、清掃等について長期継続契約の導入や業務内容の見直しを行い、

費用の削減に努めていきます。

#### ① 人員体制の合理化と適正な定員管理

平成17年4月（合併時）には正規職員数が297名でしたが、事業規模、経営形態の見直し等を行った結果、退職者の不補充、他部局への異動などにより、平成23年4月1日時点で187名となり、現在、100名の減員となっています。

今後については、病院経営、施設基準、新病院の建設に伴う診療体制や看護体制、医師・看護師の確保等、さまざまな観点から人員体制について検討し、関係団体等との協議を行いながら適正な定員管理に努めます。

一方では、男女共同参画、労働時間の厳守、産休・育休の確保等を模範的に推進する立場にあることから「安心して子どもが産める環境」として育休代替制度を確保する必要があります。特に、看護師については恒常的に育児休業中の職員がいることから、その職員数に対して一定割合の正規職員を確保します。

#### ② 材料費の削減

新病院建設による患者や手術件数の増加により材料費が増加しています。これは収益の増加に伴い増加するものですが、経営改善支援業務委託により価格交渉等の手法を取り入れることで削減を図ります。

### （3）地域医療の強化

これからますます進む高齢化社会に伴い、5大疾病のがん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病・精神疾患は、罹患数が増加することが見込まれます。がんについては、また、救急医療についても、これからの高齢化社会を考慮すると、市民の安心・安全・健康な暮らしを守るためには、より効果的で臨機応変に対応できる体制が求められますが、救急医療を提供する医療機関は、現状では医師が不足しているため、十分な対応が困難な状況です。当院においても、旧山陽市民病院の統合により、守備範囲は広がり同様の状況にあります。当院では、救急医療体制の強化のため、かかりつけ医、急患診療所等の一次救急や三次の高度医療機関との役割分担と連携を推進します。

そのほか当院が属する宇部・小野田医療圏域では、山口労災病院が災害拠点病院になっています。しかし、大災害時には救急医療同様1病院では対応が困難であること、第6次山口県保健医療計画において圏域の災害拠点病院の複数整備を促進することとされていることから、市民病院も災害拠点病院の指定を受けるための整備を行い、災害派遣医療チームの機能・体制も整備します。なお、新病院にはヘリポートを設置していることから迅速な対応が可能です。

## V 再編・ネットワーク化に係る計画

### 1 二次医療圏内の公立病院等の配置状況

宇部・小野田二次医療圏は、官民合わせて多数の病院が混在し、県内の二次医療圏の中でも県の医療計画で示された基準病床数をかなり超えています。

宇部・小野田二次医療圏の公的病院の状況は、次のとおりです。

病 院 名	許可病床数 (床)
山口大学医学部附属病院	7 3 6
山口宇部医療センター	4 3 5
小野田赤十字病院	1 3 2
山口労災病院	3 1 3
山陽小野田市民病院	2 1 5
美祢市立病院	1 4 5
美祢市立美東病院	1 0 0

### 2 再編・ネットワーク化計画の概要

当市の病院事業の再編・ネットワーク化計画は、次のとおりです。

- (1) 平成20年4月に、旧山陽市民病院を山陽小野田市民病院へ機能統合（再編）し、1病院体制へ移行しました。その後、旧山陽市民病院（160床）については民間移譲し、移譲後は内科系有床診療所（19床）及び老人福祉施設の運営がされていることから、141床の削減を行いました。
- (2) 山陽小野田市の3つの公的病院（山口労災病院、小野田赤十字病院、山陽小野田市民病院）が、急性期、療養型、一般病院として機能を分担しながら医師会と連携して地域医療を確保します。

同時に、団塊の世代が75歳以上に達する平成37年（2025年）以降には、人口減少とあいまって医療を必要とする人口が減少することを念頭においておく必要があります。

## VI 経営形態の見直し

平成18年10月1日から地方公営企業法の一部適用から地方公営企業法の全部適用に経営形態を見直し、事業管理者を設置しました。「新公立病院改革ガイドライン」では、経営形態の見直しに係る選択肢として、①地方公営企業法の全部適用、②地方独立行政法人化（非公務員型）、③指定管理者制度の導入、④民間譲渡及び⑤事業形態の見直しの5点を挙げていますが、市民病院では、「山陽小野田市新病院建設構想検討委員会」の答申を踏まえて、当面、地方公営企業法全部適用とし、事業管理者を中心に全部適用のメリットを生かして、経営の健全化に取り組みます。

## VII 点検・評価・公表

### 1 病院改革検討委員会の設置

各年度決算確定後、決算数値に基づき、本プランの実施状況を点検・評価するために病院改革検討委員会を設置します。

#### 【委員構成】

地元医師会、学識経験者、総合政策部長、健康福祉部長、  
病院事業管理者、院長、副院長、診療部長、看護部長、医療技術部長

### 2 点検・評価の時期

毎年度10月頃の予定です。

### 3 公表の方法

市ホームページに掲載します。

## Ⅷ 改革プラン及び収支計画を踏まえた今後の経営改善のための課題

### 1 収益の確保について

#### (1) 入院収益

##### ① 病床稼働率

病床稼働率については、平成24年度以降急激に悪化し、平成25年度は77.2%、平成26年度は病院移転に伴う入院制限の影響が3ヶ月程度長引いたこともあり、74.9%と落ち込みました。旧病院改革プランについては、平成22及び23年度の実績を踏まえ81%を目標数値としましたが、平成28及び29年度83.7%（180人）、平成30年度以降84.6%（182人）とします。

なお、現在で平日（水・木・金曜日）の病床稼働はきわめて良好で、85%以上（時には90%を超えています。）ですが、市民病院の特性から週末（土・日曜日）の稼働が著しく減少しており、平均稼働率を引き下げている傾向は否めません。

##### ② 入院単価

看護基準の違いから単純比較はできませんが、全国平均と比べて低い傾向にあります。平成28年度からは、前年度実績（見込）を踏まえた単価に、常勤医の増員、手術室の効率化による手術件数の増加、平均在院日数の短縮、施設基準に伴う加算の取得を加算した額を目標数値とし、1人1日の入院単価を平成28年度3万5500円、平成29年度3万6000円、平成30年度以降3万6500円として算定します。

#### (2) 外来収益

##### ① 患者数（1日平均）

外来患者数については、平成23年度までは概ね450人前後でしたが、平成24年度から平成26年度までは430人前後となりました。今後は、常勤医の増員を予定しているため、目標数値を平成28年度450人、平成29年度以降455人とします。

##### ② 外来単価

外来単価については、26年度からの院外処方完全実施に伴い7631円となりましたが、平成27年度から化学療法の実施に伴う加算の取得、単価の上昇の傾向にあります。今後は、常勤医の増員を予定していることや透析センターのベッド数の5床増加及び利用率の向上により、目標数値を平成28年度以降9300円とします。

## 2 費用の削減について

### (1) 材料費

料金収入（入院及び外来収入）に対する材料費の割合は平成24年度までは34%程度、薬品費は26%程度でしたが、平成25年度は院外処方を段階的に行い、平成26年度以降は完全実施となり、それぞれの割合は減少しています。新改革プランでは患者1人1日あたりの医療材料費の実績を考慮して、料金収入に対する割合が材料費は24%程度、薬品費は14%程度として算定します。

### (2) 経費

経費については、委託料と一般管理費に区分して計画します。

#### ① 委託料の計画

委託料については新病院で増加しましたが、その理由として①エネルギー設備関係の24時間保守体制の確保、②医事システムについて画像保存通信システム（パックス）の導入、③医療機器の高度化に伴う保守料の増加、④清掃について面積が旧病院に比べ3割程度増加、個別トイレの増加等、⑤院内保育所について平成29年度で定員数の25名に達するとして保育料を控除した委託料を計上したことが挙げられます。委託料については、長期継続契約の実施等による単価の引き下げを図ります。

#### ② 一般管理費の計画

光熱水費及び燃料費については、床面積増加分35%（12940㎡→17368㎡）及び新規医療機器の導入、照明機器等の増加及び社会的要因も含め、全体で40%程度増加が見込まれます。しかし、省エネ対策に伴う各種設備（コ・ジェネレーション、太陽光、太陽熱、地中熱、雨水利用、LED等）の利用により従来の20%程度の軽減が想定されることから、実質的に全体で20%程度の増加を見込んでいます。

## Ⅸ 旧病院改革プランの総括

### 1 数値目標と成果

#### (1) 入院収益・外来収益の推移

入院について、目標数値として平成23年度以降1日当たりの入院患者数を181人、新病院完成後の平成27年度は190人と見込んでいましたが、実績では目標患者数を下回り、平成23年度は172.3人、平成24年度以降は、170人に満たない状況となりました。平成26年度については、10月1日から新病院での診療開始に向け、移転に伴う入院制限等の影響も含め患者数は一時的に減少したものの、移転後については徐々に回復し、平成27年度には178人まで回復し、病床稼働率も82.7%となり、入院収益についても遡増しています。

近年の介護施設等の増加及近隣圏域での医療環境の充実等の影響も含め、入院患者数の大幅な増員は厳しい状況ですが、180人以上の確保が必要な状況です。

外来について、目標数値として1日当たり450人を見込んでいましたが、平成24年度以降患者数は1日当たり430人程度で推移しており、平成27年度についても500人は厳しい状況となっています。また、外来収益については平成25年度からの院外処方 of 段階的实施により大幅に減少していますが、院外処方の完全実施(院外処方率95%)は平成26年度からであり、外来収益の減少以上に投薬用薬品費の減少となっており、外来収益は微増傾向にあります。

旧病院改革プランに掲げた数値目標(1日当患者数)と実績は、次表のとおりです。



入院・外来患者数及び収益等の推移

(千円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
1. 入院 (1日当計画)	181人	181人	181人	181人	190人
入院実績					
(1) 入院患者数(人)	63,070	57,776	60,553	58,812	65,076
(2) 入院患者数(1日当)	172.3	158.3	165.9	161.1	178
(3) 入院収益(千円)	2,084,482	1,991,447	2,093,191	2,027,295	2,311,328
(4) 入院単価(円)	33,050	34,468	34,568	34,471	35,517
(5) 病床稼働率(%)	80.1	73.6	77.2	74.9	82.7
(6) 平均在院日数(日)	14.6	13.7	13.9	12.8	15.0
2. 外来 (1日当計画)	450人	450人	450人	450人	500人
外来実績					
(1) 外来患者数(人)	109,685	105,571	103,966	105,066	104,441
(2) 外来患者数(1日当)	450	431	426	434	430
(3) 外来収益(千円)	1,410,442	1,328,834	1,160,777	801,772	944,987
(4) 外来単価(円)	12,859	12,587	11,165	7,631	9,048
3. 合計 (実績)					
(1) 入院・外来患者数	172,755	163,347	164,519	163,878	169,517
(2) 入院・外来収益	3,494,924	3,320,281	3,253,968	2,829,067	3,256,315
投薬用薬品費の推移	561,997	508,397	356,756	70,551	76,782

(2) 旧病院改革プランの「経営の効率化」に伴う計画数値と実績は次表のとおりです。

平成22年度までは、1日当たりの入院患者数は181人以上でしたが、平成23年度以降病床の老朽化が次第に顕在化し、また、医療環境の変化等により患者数は減少が続き、計画数値を大きく下回りました。

また、平成26年度から会計制度の変更及び院外処方の完全実施の影響もあり、対収益比率関係等について変化を生じました。

財務に係る数値目標 (計画)

(単位：%)

	23 年度 (計画)	24 年度 (計画)	25 年度 (計画)	26 年度 (計画)	27 年度 (計画)
経常収支比率	101.3	100.3	100.4	99.6	97.1
医業収支比率	102.1	101.4	98.5	99.8	97.4
累積欠損比率	121.6	121.5	121.4	145.9	145.8
資金不足比率	6.1	0.4	△2.0	△2.1	△6.9
職員給与費対医業収益比率	49.1	50.2	53.1	51.6	54.5
材料費対医業収益比率	31.3	31.3	31.3	31.3	21.8
経費対医業収益比率	12.8	12.8	12.8	13.3	15.1

財務に係る実績等数値

(単位：%)

	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (実績)	26 年度 (実績)	27 年度 (実績)
経常収支比率	100.7	96.5	101.1	106.9	94.9
医業収支比率	101.4	97.1	98.0	92.6	92.0
累積欠損金比率	121.8	132.6	134.1	107.1	90.4
資金不足比率	6.1	4.8	1.3	9.4	△5.6
職員給与費対医業収益比率	49.4	53.9	56.8	63.6	57.6
材料費対医業収益比率	31.8	31.3	27.4	21.0	21.0
経費対医業収益比率	12.8	13.5	13.7	20.0	16.1

実績では特に資金不足比率（地方財政法）について、病院統合時（平成21年度）の資金不足比率は23.8%で、旧病院改革プランでは平成25年度に資金不足を解消する計画でしたが、解消に至らず、4,740万円（1.3%）の資金不足額を生じました。また、平成26年度において、新病院建設及び移転に伴う入院制限や各種経費の増

加に伴い2億円9617万円（9.4%）の資金不足を生じましたが、改革プランに基づいた一般会計からの繰入れにより、平成27年度において資金不足を解消しました。

#### 資金不足額の推移

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
資金不足額（千円）	230,247	171,826	47,397	296,171	△201,577
資金不足率（%）	6.1	4.8	1.3	9.4	△5.6
一般会計特別繰入金	250,000	70,000	100,000	88,968	297,000

#### （3）公立病院としての医療機能に係る数値目標と実績は次のとおりです。

医療機能については、年間延時間外患者数を除き、概ね目標数値を達成しています。

平均在院日数については、外来化学療法を平成27年度から本格的に実施している影響も含め、長期化傾向となっています。

#### 医療機能にかかる計画数値

	23 年度 (計画)	24 年度 (計画)	25 年度 (計画)	26 年度 (計画)	27 年度 (計画)
平均在院日数(日)	16.0	16.0	16.0	16.0	15.0
平均延べ手術件数(件)	1,100	1,100	1,100	1,100	1,250
救急車による年間延べ患者数(人)	700	700	700	700	750
年間延べ時間外患者数(人)	4,500	4,500	4,500	4,500	4,600

#### 医療機能にかかる実績等数値

	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (実績)	26 年度 (実績)	27 年度 (実績)
平均在院日数(日)	14.6	13.7	13.9	12.8	15.0
平均延べ手術件数(件)	1,204	1,000	1,196	1,098	1,333
救急車による年間延べ患者数(人)	858	732	728	721	713
年間延べ時間外患者数(人)	4,008	4,130	4,128	4,486	4,595

#### (4) 新病院建設の事業費内訳及び財源内訳表

新病院の建設については平成26年8月に建物が完成し、10月1日から新病院で診療を開始しました。駐車場等の外構整備については、一部、平成27年度にずれ込みましたが、7月に全ての工事が完成しました。

新病院建設の総事業費は約66億6000万円で、企業債借入額は新病院建設工事等36億9820万円、医療機器及び医療情報システム11億4340万円で、合計48億4160万円であり、当初計画（平成24年度計画）の借入予定額44億80万円から4億4080万円増加しました。

企業債の償還については、医療機器及び医事情報システムは5年間、建物及び建物附属設備は29年間となっております。

1.建設事業費		(千円)		H24～H26 年度別実績内訳		
区 分	H24～H26	H24	H24	H25	H26	
	総事業費	当初計画	事業費	事業費	事業費	
(支出)						
1. 新病院建設工事・実施設計	5,098,370	4,500,000	204,395	1,243,333	3,650,642	
2. 医療機器・情報システム・什器備品	1,441,463	1,200,000			1,441,463	
3. ソフト事業(BCP, 移設費他)	120,665	66,000	22,575	8,000	90,090	
支 出 合 計	6,660,498	5,766,000	226,970	1,251,333	5,182,195	
(収入)						
1. 補助金	57,227		280	10,308	46,639	
2. 企業債(建設事業)	3,698,200	3,375,800	124,900	924,700	2,648,600	
〃 (医療機器・医療情報システム)	1,143,400	1,025,000			1,143,400	
企業債合計	4,841,600	4,400,800	124,900	924,700	3,792,000	
3. 一般会計出資金	1,361,100	1,299,200	40,800	308,200	1,012,100	
4. 内部留保、起債対象外事業負担金	400,571	66,000	60,990	8,125	331,456	
収 入 合 計	6,660,498	5,766,000	226,970	1,251,333	5,182,195	

注 総事業費の内、外構工事等約3億2900万円を平成27年度に繰り越しました。

## X 収支計画

### 1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収	1. 医業収益 a	3,538	3,139	3,617	3,697	3,772	3,807	3,807	3,807
	(1) 料 金 収 入	3,254	2,829	3,256	3,349	3,424	3,457	3,457	3,457
	(2) そ の 他	284	310	361	348	348	350	350	350
	うち他会計負担金	110	108	109	110	110	110	110	110
	2. 医業外収益	238	634	278	386	382	382	396	303
	(1) 他会計負担金・補助金	221	221	187	160	160	159	158	157
	(2) 国（県）補助金	1	1	1	1	1	1	1	1
	(3) 長期前受金戻入	-	350	55	99	104	107	124	104
	(4) そ の 他	16	62	35	126	117	115	113	41
	経常収益 (A)	3,776	3,773	3,895	4,083	4,154	4,189	4,203	4,110
入	1. 医業費用 b	3,609	3,390	3,931	4,052	4,004	4,084	4,031	4,029
	(1) 職員給与費 c	2,010	1,996	2,085	2,102	2,062	2,137	2,115	2,169
	(2) 材 料 費	970	660	760	780	780	790	790	790
	(3) 経 費	486	628	584	635	630	630	630	630
	(4) 減価償却費	129	80	459	483	484	479	448	417
	(5) そ の 他	14	26	43	52	48	48	48	23
	2. 医業外費用	128	140	172	164	180	179	177	174
	(1) 支払利息	21	52	68	62	59	57	55	52
	(2) そ の 他	107	88	104	102	121	122	122	122
	経常費用 (B)	3,737	3,530	4,103	4,216	4,184	4,263	4,208	4,203
経常損益 (A)-(B) (C)	39	243	▲ 208	▲ 133	▲ 30	▲ 74	▲ 5	▲ 93	
特別損益	1. 特別利益 (D)	3	0	297	1	1	1	1	1
	2. 特別損失 (E)	5	1,893	0	1	1	1	1	1
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 2	▲ 1,893	297	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	37	▲ 1,650	89	▲ 133	▲ 30	▲ 74	▲ 5	▲ 93	
累 積 欠 損 金 (G)	4,746	3,361	3,272	3,491	3,521	3,595	3,601	3,693	
不 良 債 務	流動資産 (ア)	696	666	699	669	658	640	679	638
	流動負債 (イ)	743	962	497	656	651	587	523	465
	うち一時借入金	150	550	280	350	250	150	100	0
	翌年度繰越財源 (ウ)								
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)									
不良債務 (オ)									
差引 [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	47	296	▲ 202	▲ 13	▲ 7	▲ 53	▲ 156	▲ 173	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	101.1	106.9	94.9	96.8	99.3	98.3	99.9	97.8	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	1.3	9.4	▲ 5.6	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 1.4	▲ 4.1	▲ 4.5	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	98.0	92.6	92.0	91.2	94.2	93.2	94.4	94.5	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	56.8	63.6	57.6	56.9	54.7	56.1	55.6	57.0	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	47	296	▲ 202	▲ 13	▲ 7	▲ 53	▲ 156	▲ 173	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	1.3	9.4	▲ 5.6	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 1.4	▲ 4.1	▲ 4.5	
病 床 稼 働 率	77.2	74.9	82.7	83.7	84.6	84.6	84.6	84.6	

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度							
		25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	995	3,532	300	55	55	55	55	55
	2. 他会計出資金	308	1,012						
	3. 他会計負担金	80	159	48	99	99	101	116	100
	4. 他会計借入金								
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金								
	7. その他	11	46						
	収入計 (a)	1,394	4,749	348	154	154	156	171	155
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-(b)+(c) (A)	1,394	4,749	348	154	154	156	171	155	
支 出	1. 建設改良費	1,329	4,677	386	75	75	75	75	75
	2. 企業債償還金	116	128	125	380	374	371	399	224
	3. 他会計長期借入金返還金	22	21	32	31	87	88	66	66
	4. その他	86	88	88	0				
支出計 (B)	1,553	4,914	631	486	536	534	540	365	
差引不足額 (B)-(A) (C)	159	165	283	332	382	378	369	210	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	159	67	283	332	382	378	369	210
	2. 利益剰余金処分額								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他		98						
計 (D)	159	165	283	332	382	378	369	210	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	( 0 ) 331	( 0 ) 329	( 297 ) 593	( 0 ) 376	( 0 ) 373	( 0 ) 369	( 0 ) 367	( 0 ) 294
資本的収支	( 0 ) 80	( 0 ) 159	( 0 ) 48	( 0 ) 99	( 0 ) 99	( 0 ) 101	( 0 ) 116	( 0 ) 100
合計	( 0 ) 411	( 0 ) 488	( 297 ) 641	( 0 ) 475	( 0 ) 472	( 0 ) 470	( 0 ) 483	( 0 ) 394

(注)

1 ( )内はうち基準外繰入金額

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう。

## 空家対策の進捗状況について

## 1 山陽小野田市空家等対策協議会の委員について

協議会の委員について、空家特措法第7条第2項で、「市長村長のほか、地域住民、市町村の議会の議員、法務、不動産、建築、福祉、文化等に関する学識経験者その他の市町村長が必要と認める者」とされているため、委員は必須要件である市長の外、各専門分野を網羅するように委員を選任する。

## 山陽小野田市空家等対策協議会委員（案）

No.	区分	所属団体等の名称
1	市長	山陽小野田市
2	学識経験者	山陽小野田市立山口東京理科大学
3	法務	山口県弁護士会
4	法務	山口地方法務局宇部支局
5	市民・福祉	山陽小野田市民生児童委員協議会
6	不動産	一般社団法人 山口県宅地建物取引業協会
7	建築	一般社団法人 山口県建築士会
8	その他	山陽小野田警察署
9	その他	宇部・山陽小野田消防局
10	法務	山口県土地家屋調査士会

（裏面に続く）

## 2 山陽小野田市空家等対策計画について

山陽小野田市庁内空家等対策委員会において、山陽小野田市空家等対策計画（案）を作成する。その計画（案）を基に、山陽小野田市空家等対策協議会で協議した後、パブリックコメントに諮り、平成30年10月頃に市長が計画を策定する。

山陽小野田市空家等対策協議会（第1回）（9月下旬開催予定）

内容（予定）

- （1） 辞令交付
- （2） 委員長・副委員長選出
- （3） 山陽小野田市空家等対策協議会運営要領（案）
- （4） 山陽小野田市空家等対策計画（案）
- （5） その他（今後のスケジュール等）

山陽小野田市空家等対策協議会（第2回）（開催日未定）

- （1） 山陽小野田市空家等対策計画（案）

## 3 山陽小野田市空家等実態調査業務委託の入札結果について

平成29年8月1日入札を行い、8月2日に契約を行った。

- ・ 契約金額 6,696,000円（消費税込み）
- ・ 入札業者 株式会社 ゼンリン山口営業所
- ・ 契約期間 平成29年8月2日から平成30年2月28日まで
- ・ 現地調査 平成29年10月から11月頃実施（予定）



## 閉会中の継続調査事項について

委員会名	調査事項	調査期間
民生福祉常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民健康保険及び国民年金に関すること。</li> <li>・ 介護保険に関すること。</li> <li>・ 在宅介護者支援に関すること。</li> <li>・ 保健衛生に関すること。</li> <li>・ 保育所に関すること。</li> <li>・ 病院経営に関すること。</li> <li>・ 地域医療に関すること。</li> <li>・ 在宅医療介護連携について。</li> <li>・ 人権・男女共同参画に関すること。</li> <li>・ 火葬場整備事業に関すること。</li> <li>・ 空き家等の適正管理及び利活用について</li> <li>・ 子育て支援を中心に結婚や出産をしやすくなる環境整備に関すること。</li> </ul>	平成29年10月9日まで継続して閉会中調査する。